



Title	札幌農学校予修科に関する一考察
Author(s)	廣瀬, 公彦
Citation	北海道大学大学文書館年報, 14, 31-78
Issue Date	2019-03-29
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/73822
Type	departmental bulletin paper
File Information	ARHUA_14_3.pdf



< 研究ノート >

札幌農学校予修科に関する一考察

廣瀬 公彦

はじめに

1895年4月に勅令第208号（1893年11月10日制定）の施行によって文部省直轄学校となった札幌農学校は、1898年5月3日の校則改正によって「予修科」を設置した。「予修科規程」は、「本科ノ学科ヲ修ムルニ必要ナル普通学科ヲ授ク」ための修学年限2年の課程と規定している¹⁾。入学資格は尋常中学校卒業程度で、以下のように、制度上で本科卒業時の年齢が帝国大学と揃うこととなった。

- ・尋常中学校 → 札幌農学校予修科（2年）→ 札幌農学校本科（4年）
- ・尋常中学校 → 高等学校大学予科（3年）→ 帝国大学（3年）

これは、帝国大学昇格を現実化する方策でもあった。はやくも翌1899年、「北海道帝国大学設立建議」において、札幌に高等学校大学予科を設置するのは難しいため、予修科を1年延長することで帝国大学内に大学予科をつくるという案が示されている²⁾。1907年9月、勅令第236号（1907年6月21日制定）の施行により東北帝国大学農科大学が設置され、札幌農学校が帝国大学に昇格した。勅令第237号（1907年6月21日制定）では、大学予科の付属も定められた。その際、修学年限3年の東北帝国大学農科大学大学予科では、予修科の第1・2年級修了者を大学予科第2・3年級とする措置をとった。

それでは、帝国大学昇格への過渡期にあたる当該時期において、予修科にはどのような生徒が入学していたのであろうか。

従来の研究では、1876～1896年の札幌農学校予習科・予科・予備科について、石見和子が出身地や本科への進学状況を調査している³⁾。これに続く予修科の分析も必要であろう。たとえば、『北大百年史』通説が予修科の設置計画以来の経緯を記述し、在籍者の本籍地の分析や、校則の入学資格の変遷にふれている⁴⁾。

本稿では、これをふまえつつ、『官報』の「生徒募集」記事から入学試験の実施状況を、「札幌農学校簿書」（北海道大学大学文書館蔵）に含まれる教務部作成文書や入学願書などから志願者の出身学校や受験場所を調査し、予修科（1898～1906年度）の入学者選抜試験の実際について考察する。

1. 入学者選抜試験の規程とその実施

入学者選抜試験については、『札幌農学校一覧』（以下、『一覧』と略す場合がある）掲載の「予修科規程」が志願者資格・入学手数料・定員・入学願書の書式を定めている。これに基づいて、『官報』広告欄掲載の「生徒募集」記事に、募集人数・志願者資格・試験科目・出願期日・試験日程（開始日のみ）・試験場所・入学願書の書式などの具体的な実施要項が示された。札幌農学校は新聞各紙に生徒募集の広告を載せ、「委細は何月何日の官報を参照すべし」として周知していた。

上記の資料によって、志願者資格・試験日程・科目・場所を表1にまとめた。また、参考として、『文部省年報』⁵⁾に記載された志願者数と入学者数を表2として掲げた。そして、それぞれについて項を分けてみていくこととする。

表1 入学者選抜試験の実施状況

年度	志願者資格	日程	科目	場所
1898	【第1年級】 ・尋常中学校卒業者は無試験 ・定員超過の時は特別試験 ・尋常中学校卒業者と同等の学力を有する17歳以上の者に入学試験 【第2年級】 ・尋常中学校卒業かつ学術優等の者に入学試験	出願期限 6月25日 試験日 7月11日-	【第1年級】 国語、漢文、英語、数学、物理学、理化学 【第2年級】 国語、漢文、英語、代数、三角術、物理学（光学越歴学を除く）、無機化学、自在画及用器画法、近世史	・札幌農学校
1899	【第1年級】 ・中学校卒業者は無試験 ・定員超過の時は特別試験（中学校卒業で学術優等と中学校長の証明する者は特別試験を課さない） ・定員に満たない時は17歳以上で中学校卒業者と同等の学力がある者に普通試験を課す 【第2年級】 ・中学校卒業かつ学術優等の者に入学試験	出願期限 6月20日 試験日 7月9日-	〃	〃
1900	・中学校卒業者は無試験入学 ・定員超過の時は選抜試験を課す ・定員に満たない時は中学校卒業生と同等の学力を有する17歳以上の者に入学試験を課す	出願期限 6月20日 試験日 7月9-10日	・国語 ・漢文（訓点、解釈、作文） ・数学（算術、代数、幾何（平面立体）、三角術初歩） ・英語（和文英訳、英文和訳）	・札幌農学校 ・文部省内
1901	〃	出願期限 6月20日 試験日 7月9日-	・国語漢文（訓点、解釈、作文） ・数学（算術、代数、幾何（平面立体）、三角術初歩） ・英語（和文英訳、英文和訳）	・札幌農学校 ・文部省内 ・各府県中学校（京都・東京を除く）

1902	・中学校卒業者は無試験入学 ・定員超過の時は選抜試験を課す（中学校長より優等生の証明のある者は無試験入学を許す） ・定員に満たない時は中学校卒業者と同等の学力を有する17歳以上の者に入学試験を課す	出願期限 6月20日 5月末日	〃	・札幌農学校 ・文部省内 ・各府県立中学校（東京を除く）
1903	・中学校卒業者に入学試験を課す ・中学校長より優等生の証明のある者は無試験入学を許すことあり	出願期限 6月10日 試験日 7月1-2日	〃	・札幌農学校 ・文部省内 ・各府県庁（東京を除く）
1904	・中学校卒業者と専門学校入学者試験検定合格者に入学を許す ・定員超過の時は試験を課す ・中学校長より優等生の証明のある者は無試験入学を許すことあり	出願期限 6月15日 試験日 7月8-9日	・国語漢文（訓点、解釈、作文） ・数学（代数、幾何（平面立体）、三角術初歩） ・英語（和文英訳、英文和訳） ・物理学	〃
1905	〃	出願期限 6月15日 試験日 7月10-11日	・国語漢文（訓点、解釈、作文） ・数学（代数、幾何（平面立体）、三角術初歩） ・英語（和文英訳、英文和訳） ・化学	・札幌農学校 ・東京高等商業学校内講堂 ・各府県庁（東京を除く）
1906	〃	出願期限 6月15日 試験日 7月9-11日	・国語漢文（訓点、解釈、作文） ・数学（代数、幾何（平面立体）、三角術初歩） ・英語（和文英訳、英文和訳） ・化学 ・物理学	・東京 ・札幌 ・熊本

備考1)『札幌農学校一覧』『予修科規程』および『官報』『生徒募集』記事により作成した。

2) 1898・1899年度は追加募集がおこなわれた。1898年度は7月22日付『官報』で第1年級27名、第2年級30名を募集し、出願期限を8月20日とした。1899年度は7月31日付『官報』で第2年級を募集し、出願期限は8月25日だった。

3) 1900・1902～1906年度の試験日程は、以下の資料により補った。1900年度は札幌農学校簿書716「日誌 明治三十三年四月 札幌農学校巡視」、1902年度は札幌農学校簿書978「生徒募集ニ関スル書類 明治三十五年ヨリ 教務部」所収「各中学校長へ問題送付ノ件」（1902年7月1日）、1903年度は同簿書所収「試験問題送付ノ件」（1903年6月18日）、1904年度は同簿書所収「入学試験問題送付ノ件」（1904年6月29日）、1905年度は札幌農学校簿書829「生徒募集及入学ニ関スル書類 明治三十八年 教務部」所収「試験問題送付ノ件」（1905年6月26日）、1906年度は札幌農学校簿書921「入学試験ニ関スル書類 明治三十九年七月 教務部」所収「受験者心得ノ件」（1906年6月20日）。

4) 1902年度の「出願期限」は、各府県立中学校での受験を希望する者は5月末日だった。

表2 入学志願者数・入学者数・生徒数

年度	募集人数	志願者数	入学者数	倍率	在籍者数	
1898	第2年級40	—	—	—	第2年級	6
	第1年級40				第1年級	23
1899	第2年級25	—	—	—	第2年級	19
	第1年級40				第1年級	49
1900	40	83	40	2.1	第1年級	51

1901	40	148	46	3.2	第1年級	47
1902	40	195	47	4.1	第1年級	52
1903	40	130	43	3.0	第1年級	46
1904	40	187 (外2)	47 (外2)	4.0	第1年級	53 (外2)
1905	40	161 (外2)	46 (外2)	3.5	第1年級	54 (外4)
1906	40	182 (外3)	47 (外3)	3.9	第1年級	52 (外3)

備考1)「募集人数」は『官報』『生徒募集』記事、「志願者数」「入学者数」は『文部省年報』、「在籍者数」は『一覧』『学生々徒姓名』により作成した。「倍率」は、「志願者数」を「入学者数」で除して算出した。

2)「外」は外国人留学生で、内数で示す。

1-1. 志願者資格

1898年5月制定の「予修科規程」は、入学資格を次のように定めており、1902年度まで変更はない。

予修科ニ入学スルコトヲ得ル者ハ、尋常中学校ヲ卒業シタル者、若クハ之ト同等ノ学力ヲ有シ品行方正年齢十七歳以上ニシテ募集ニ応シ入学試験ニ及第シタル者トス。

尋常中学校卒業生ニシテ学力優等成績拔群ナル者ハ特ニ予修科第二年級ニ入学セシムルコトアルヘシ。⁶⁾ (句読点は稿者による。以下同じ)

札幌農学校は、予修科第1年級への入学資格を、①尋常中学校卒業生、②尋常中学校卒業生と同等の学力をもつ17歳以上で「入学試験」に合格した者とし、③尋常中学校卒業生で成績優等の者には特に予修科第2年級への入学を認めることがあると定めた。そして、1898年5月18日付『官報』広告欄⁷⁾に、以下のような「生徒募集」記事を載せた。

予修科第一年級 尋常中学卒業生ハ無試験ニテ入学ヲ許ス。但シ、志願者定員ニ超過スルトキハ、特別試験ヲ為ス。(中略)

同 第二年級 尋常中学卒業生ニシテ学術優等品行方正ナルヲ該校長ノ証明セル者ニ、予修科第一年級学課程ニ依リ入学試験ヲ為ス。(後略)

尋常中学校卒業生を無試験入学とすること、募集定員超過の場合は「特別試験」を課すること、尋常中学校卒業生で成績優等の者は中学校長の証明を以て示した上で「入学試験」を課することが明記され、先述の「予修科規程」①と③の部分を実際に即す形で示している。ただ、②の部分がなく、募集定員超過によって試験が実施された場合の、尋常中学校卒業生の「特別試験」と尋常中学校卒業生と同等の学力をもつ17歳以上の者の「入学試験」の優先順位については、判然としない。1898年度の入学志願者資格は次のようにまとめられる。

【1898年度・第1年級】

- ・尋常中学校卒業生は無試験で入学（定員超過の場合は特別試験を課す）
- ・尋常中学校卒業生と同等の学力をもつ17歳以上の者に入学試験を課す

【1898年度・第2年級】

・尋常中学校卒業生で優等生の証明のある者に入学試験を課す

1899年度の『官報』「生徒募集」記事⁸⁾では、第1年級の項目に、志願者が超過した場合でも、「中学校卒業生ニシテ學術優等品行方正ナルヲ該校長ノ証明セル者ニハ特別試験ヲ為サス直ニ入学ヲ許ス」という文言が加わり、成績優等生は定員超過でも無試験で入学できることになった。なお、「中学校令」（1899年2月6日制定、勅令第28号）によって4月1日から「尋常中学校」が「中学校」に改められたことを反映して、「中学校卒業生」となっている。また、「第一項第二項（中学校卒業生…稿者注）ニ該当スル志願者予定人員ニ満タサルトキ」に「年齢十七歳以上ニシテ中学校卒業生ト同等ノ学力アル志願者」への「普通試験」を課すという文言も加わった。中学校卒業生と同等の学力をもつ17歳以上の者のことが記述され、定員に満たない場合のみ考査の対象となるという資格上の順位付けが明示された。

【1899年度・第1年級】

1. 中学校卒業生のうち優等生は無試験で入学（定員超過の場合も同様）
2. 中学校卒業生は無試験で入学（定員超過の場合は特別試験を課す）
3. 定員に満たない場合、中学校卒業生と同等の学力をもつ17歳以上の者に普通試験を課す

【1899年度・第2年級】

・中学校卒業生で優等生の証明のある者に入学試験を課す

志願者数にかかわらない優等生の無試験入学は、1900・1901年度⁹⁾にはなくなるが、1902年度¹⁰⁾に再び現れ、1905年度まで残る。

1900年度には、『官報』「生徒募集」記事から第2年級に関する記載がなくなる。1898年度に23名だった第1年級の在籍者¹¹⁾が1899年度には49名となり¹²⁾、第1年級からの進級者だけで定員40名を満たせるようになったためと考えられる。

1903年4月1日に「専門学校令」（1903年3月26日制定、勅令第61号）および「専門学校入学者検定規程」（1903年3月31日制定、文部省令第14号）が施行された。この検定の合格者（以下、「専検合格者」と略す）は、専門学校の入学に関して中学校卒業生と同等の資格となった。試験検定は5月12～22日におこなわれている¹³⁾。同日「実業学校令中改正ノ件」（1903年3月26日制定、勅令第62号）によって「実業専門学校」となった札幌農学校は、「予修科規程」の入学者資格を改訂した。

予修科ニ入学スルコトヲ得ルモノハ、尋常中学校ヲ卒業シタル者若クハ専門学校入学者検定規程ニ依リ検定ニ合格シタル者トシ、且入学志願者予定ノ人員ヲ超過シタルトキハ選抜試験ヲ行ヒ、其成績優等ナル者ヨリ順次入学セシム¹⁴⁾

中学校卒業生と専検合格者に対し、定員超過の場合は試験を課している。しかし、同年の『官報』「生徒募集」記事¹⁵⁾は専検合格者にふれておらず、かつ、中学校卒業生と同等の学力をもつ17歳以上の者についての項目が削除されている。また、「中学校ヲ卒業シタル

者ハ予修科（中略）第一年級へ試験ノ上入学ヲ許ス」と、定員超過でなくても試験を課すこととなった。この年の志願者数は、前年の195名から130名に減少した。

【1903年度・第1年級】

1. 中学校卒業者のうち優等生は無試験で入学（定員超過の場合も同様）
2. 中学校卒業者は試験を課す

1904年度の『官報』「生徒募集」記事¹⁶⁾では、専検合格者についての項目が加わっている。これによって入学志願者資格をまとめると次のようになる。

【1904年度・第1年級】

1. 中学校卒業者のうち優等生は無試験で入学（定員超過の場合も同様）
2. 中学校卒業者・専検合格者は入学（定員超過の場合は試験を課す）

以降、1906年まで「予修科規程」、『官報』「生徒募集」記事ともに変化はみられない。

1－2. 試験科目

「予修科規程」には試験科目についての定めはなく、毎年度の『官報』「生徒募集」記事に掲載されている。

1898年度は、第1年級への入学志願者には、国語、漢文、英語、数学、博物学、理化学を「尋常中学校卒業ノ程度」で課した。第2年級は、国語、漢文、英語、代数、三角術、物理学（光学越歴学¹⁷⁾を除く）、無機化学、自在画及用器画法、近世史だった¹⁸⁾。

これが1900年度¹⁹⁾になると、国語、漢文（訓点、解釈、作文）、数学（算術、代数、幾何（平面、立体）、三角術初歩）及英語（和文英訳、英文和訳）の「四科目」となり、1903年度まで科目に変化はない。ただし、1901年度以降「三科目」と表現されるようになっており、「国語漢文」を1つとみなしたと考えられる。受験者数の増加や、試験場所の東京への増設に伴い、段階的に試験科目数を調整していったものかと推察される。

1904年度には、数学の細目から「算術」が消え、「物理学」が加わって4科目となる²⁰⁾。翌1905年度には物理学が「化学」に換わった²¹⁾。そして、1906年度には、国語漢文（訓点、解釈、作文）、数学（代数、幾何（平面、立体）、三角術初歩）、英語（和文英訳、英文和訳）、化学、物理学の5科目となった²²⁾。

ところで、『官報』に記載されるのは、試験科目と開始日のみだった。ただ、試験会場へ問題を送付した際の実施要項（教務部作成）から、1902～1906年度の日程と日割は次の通りであったことがわかる。

1902年度 7月9日（数学）・10日（作文・漢文）・11日（英語）²³⁾

1903年度 7月1日（数学・漢文）・2日（英語・作文）²⁴⁾

1904年度 7月8日（数学・英語）・9日（漢文（作文共）・物理）²⁵⁾

1905年度 7月10日（数学・英語）・11日（漢文・作文・化学）²⁶⁾、

1906年度 7月9日（数学・化学）・10日（英語・漢文・作文）・11日（物理学）²⁷⁾

1－3．試験場所

試験の実施場所は、『官報』『生徒募集』記事および教務部の作成した「入学試験ニ関スル書類」などの文書から読み取ることができる。

1898・1899年度は、『官報』『生徒募集』記事²⁸⁾によれば「本校内」とあり、札幌農学校内でおこなった。

1900年度は、「本校及文部省内」となっており、札幌・札幌農学校内と東京・文部省内で実施した²⁹⁾。志願者は83名となり、定員を超過している。各受験場所での受験者数などを示す資料は確認できていない。

1901年度は上記2ヶ所に加えて「各府県（京都及東京ヲ除ク）中学校」が会場となった³⁰⁾。各志願者の受験場所は、「明治三十四年 予修科入学試験成績」³¹⁾および「入学志願者名簿

明治三十四年 教務部」³²⁾において確認できる。両者の記述をあわせると、志願者134名分の受験場所がわかり、札幌22名、東京93名³³⁾、その他の府県19名（14府県16校、表3参照）であった。東京が約7割を占め、各府県では1校1名ほどの実施だった。

表3 1901年度に試験会場となった中学校

府県	中学校	人数	府県	中学校	人数
青森	青森第一中学校	1	長野	松本中学校	1
	青森第二中学校	2	三重	三重第一中学校	1
岩手	盛岡中学校	1	大阪	八尾中学校	1
宮城	宮城第一中学校	2		茨木中学校	1
山形	庄内中学校	1	奈良	郡山中学校	1
千葉	佐倉中学校	1	広島	福山中学校	1
新潟	新発田中学校	1	徳島	富岡中学校	1
山梨	山梨中学校	1	熊本	中学済々黌	2

備考 札幌農学校簿書766-3、1013により作成した。

1902年度は、試験場所が「札幌本校、東京文部省内及各府県（東京府ヲ除ク）立中学校」となった³⁴⁾。「予修科入学試験成績」³⁵⁾によると、志願者147名分の受験場所がわかり、札幌17名、東京73名、その他の府県57名（24府県35校、表4参照）であった。東京への集中はかわらないが、5割ほどに減少している。一方で、会場となった府県や中学校の数は大幅に増加した。

1903年度は、会場を各府県立中学校から「各府県庁」に変更した³⁶⁾。前年には10府県において複数の中学校で実施したのが、各道府県1ヶ所に集約されたことになる。「入学志願者名簿 明治三十六年四月 教務部」³⁷⁾によると、128名の受験場所がわかり、札幌13名、東京66名、その他の府県47名（23府県）であった。

表4 1902年度に試験会場となった中学校

府県	中学校	人数	府県	中学校	人数
青森	弘前中学校	4	愛知	[愛知県第一中学校]	3
	八戸中学校	1		愛知第二中学校	1
宮城	[宮城県第一中学校]	1	滋賀	滋賀第一中学校	2
	宮城第三中学校	1	京都	[京都第一中学校]	1
山形	山形中学校	1	大阪	八尾中学校	1
	庄内中学校	2		北野中学校	1
福島	会津中学校	3	兵庫	洲本中学校	1
	[福島県第二中学校]	1	島根	島根中学校	1
茨城	水戸中学校	1	岡山	岡山中学校	2
群馬	富岡中学校	1	徳島	徳島中学校	1
	前橋中学校	1	香川	高松中学校	2
埼玉	浦和中学校	1	高知	高知中学校	1
	熊谷中学校	2	福岡	福岡中学校	1
千葉	千葉中学校	1	佐賀	佐賀中学校	1
新潟	新潟中学校	2		鹿島中学校	1
	新発田中学校	4	長崎	[長崎中学校]	2
	長岡中学校	1	熊本	[熊本中学校]	6
長野	松本中学校	1			

備考1) 札幌農学校簿書773-5により作成した。

2) 「仙台」「磐城」など市町名のみ記入されたものは、地名や出身中学校などから推定し、[] で括った。

1904年度は、「入学志願者名簿 明治三十七年五月 教務部」³⁸⁾により、184名分の受験場所がわかる。札幌22名、東京91名、その他の府県71名(28府県)であった。

1905年度は、東京の試験会場が文部省内から「東京高等商業学校内講堂」にかわった³⁹⁾。「入学志願者名簿 明治三十八年 教務部」⁴⁰⁾によれば、155名分の受験場所がわかり、札幌23名、東京72名、その他の府県60名(31府県)であった。

1906年度には、試験場所が「東京、札幌及熊本」となった⁴¹⁾。具体的には、「東京」は文部省修文館、「札幌」は札幌農学校、「熊本」は第五高等学校である⁴²⁾。なお、第五高等学校での実施には、試験監督の補助3名を熊本農学校に依頼している。当時の熊本農学校長は河村九淵(札幌農学校第4期生)で、佐藤昌介からの依頼に、承諾の回答をした⁴³⁾。各志願者の受験場所を示す資料は確認できないが、入学者46名の受験場所は、札幌8名(うち清国留学生2名)、東京35名、熊本3名であった⁴⁴⁾。

1902年度から1905年度にかけて、実施される府県数は増加している。一方で、東京における受験者数は全体の5割付近を維持し続けた。1906年度になって約4割を占めていた各府県での実施がなくなったものの、志願者数は182名と19名増えた。それは、この期間に公私立中学校の中学校卒業生数が、3,043名(1898年度)から15,582名(1906年度)へと5倍になっていた⁴⁵⁾ことも一つの要因と考えられる。

2. 入学志願者の実態

「札幌農学校簿書」には、志願者が提出した「入学願書」と「学業履歴書」、教務部が作成した入学試験関係文書が含まれている。「入学願書」には志願者の氏名・族籍・寄留地・提出日、「学業履歴書」にはこれまで在籍した学校名・使用した教科書・卒業年・賞状や修業証書の写しが記載されている。教務部の作成文書には、志願者の受験場所や得点をまとめた一覧表や、各種通知の文書などがある。

本節では、「札幌農学校簿書」に基づき、学歴や出身学校や受験場所など、志願者の実態をみていく。

なお、末尾に付表として、1898～1906年度の志願者の氏名・生年・出身校・中学校卒業後の履歴・受験場所・予修科への在籍などをまとめた一覧表を掲げた。

2-1. 志願状況と選抜結果

1898年度については、36名分の願書が確認できる⁴⁶⁾。5番目に綴じられた三宅勉の願書の前に「予修科第一年級へ無試験入学」と書かれた紙片が挟み込まれている。三宅より前の4名は全員が第2年級に入学しており、三宅以下を尋常中学校卒業生として無試験で第1年級に入学させたという意味と思われる⁴⁷⁾。また、川口順次郎の願書の前には「予修科第一年級へ試験ノ上入学志願者」という紙片が挟み込まれている。川口は明治義会尋常中学校を第5年級で中途退学していたため、入学試験が課されたと思われる。他に6名が中学校在学中あるいは中途退学だったが、川口のほか、石田研・小川義雄（札幌尋常中学校第5年級在学中）が入学している。さらに、願書の提出日を見ると、5月18日付『官報』で設定した6月25日の期限以前のは20名分（6月28日提出の2名を加えれば22名分）のみで、残る14名は8～9月であった。7月22日付『官報』で追加募集を出しており、予修科にとって志願者の確保は大きな課題だった。

1899年度については、56名分の願書が確認できる⁴⁸⁾。前年度と比べ、中学校在学中の志願者はいない。願書提出日は、5月24日付『官報』の締切である6月20日以前の提出が39名（日付不記載も含めて6月中まで入れれば43名）、7～9月が11名、不明2名となる。前年度と比べて一次締切の応募数が増えてはいるものの、いまだ追加募集（7月31日付『官報』）が必要な状況であった。

1900年度については、77名分の願書が確認できる⁴⁹⁾。このとき入学した川嶋一郎は、入学許可者の氏名が成績順で掲示されたと回想している⁵⁰⁾。願書提出日は、7月以降の日付がなくなっている。追加募集をおこなわなくとも志願者が集まるようになったとみなせる。

1901年度については、149名分を確認できる⁵¹⁾。『官報』「生徒募集」記事の志願者資格には記載がないが、1名の無試験入学者がいる。中学校在学中・中途退学者が11名いたが、志願者名簿に不記載あるいは「無資格」の注記がなされている⁵²⁾。中学校卒業生以外の志願は、『官報』「生徒募集」記事に「第一号（中学校卒業生…稿者注）ノ志願者定員ニ満タ

サルトキ」とあって募集定員に満たない場合に限っており、受験を認めなかった。

1902年度については、187名分を確認できる⁵³⁾。この年から『官報』『生徒募集』記事に志願者資格として「中学校長ヨリ優等生タル証明アル者ハ無試験入学ヲ許ス」と加わっており、無試験入学許可者が17名いる。

1903年度については、132名分を確認できる⁵⁴⁾。無試験入学者は4名だった。

1904年度については、193名分を確認できる⁵⁵⁾。無試験入学者は6名だった。京都第一中学校第4年級だった阿部昂三の受験場所を記す箇所には「無資格」とあり、中学校卒業者もしくは専検合格者以外の受験は認められなかった。

1905年度については、161名分を確認できる⁵⁶⁾。無試験入学者は4名いる。

1906年度については、合格者46名分を確認できる⁵⁷⁾。無試験入学者が2名おり⁵⁸⁾、44名に入学許可がなされた。

「入学願書」と共に提出された「学業履歴書」や受験者名簿をみても、出身の中学校・高等学校やその後の修学場所は書かれているが、専検合格者に言及するものはみられなかった。

2-2. 志願者の出身学校所在地

志願者の出身学校の所在地を、「学業履歴書」から求めた。その結果を地方ごとにまとめ、表5として示す。

表5 志願者の出身学校所在地

(単位：数値は人数で()内は学校数、道府県数は個)

地方	1898	1899	1900	1901	1902	1903	1904	1905
北海道	14(1)	22(2)	15(1)	16(2)	10(2)	9(1)	20(2)	22(2)
東北	4(3)	4(4)	6(6)	17(8)	28(11)	20(13)	31(15)	22(11)
関東	15(11)	16(13)	32(16)	67(25)	71(31)	36(25)	55(28)	42(24)
中部	2(2)	7(4)	8(7)	21(14)	25(12)	16(13)	14(9)	19(15)
近畿	0	4(4)	4(3)	9(8)	15(10)	19(11)	18(11)	11(8)
中国	1(1)	1(1)	3(2)	8(5)	11(7)	9(4)	13(10)	14(9)
四国	0	1(1)	3(3)	2(2)	6(4)	8(4)	16(8)	12(6)
九州	0	1(1)	6(5)	9(7)	21(10)	15(8)	24(15)	17(11)
合計人数	36名	56名	77名	149名	187名	132名	191名	159名
道府県数	9	15	22	34	41	36	42	38

備考 札幌農学校簿書729-3、766-3、766-4、773-4、773-5、773-6、832、942、950、1013、1014、1015により作成した。

1898・1899年度時点では道内の学校出身者数が38.9%・39.3%を占めていたが、1900年度に19.5%、1901年度に10.7%となり、以降10%程度で推移している。出身校は札幌中学校のほか、函館中学校(1899・1901・1902・1904・1905年度)や私立尋常中学北鳴学校(中途退学のため表5には入れていない)がみえるのみで、小樽中学校(1902年開校)や上川中学校(1903年開校)の在学学生や卒業者はみあたらない。北海道における中学校の整備が

遅れ、全国的に急増していた中学校卒業生に対して予修科在籍者の比率を下げていった⁵⁹⁾という『北大百年史』通説の指摘がうべなわれる。

それに伴って出身学校の所在地も多彩になり、1902年度には41道府県に及んでいる。一方で、関東地方の学校出身者は1901年度まで4割程度を占める。東京を受験場所を選択する学生が圧倒的に多かった点にも明らかなように、予修科入学に必要な学力を得る環境として、東京は最適だった。1903年度から3割弱に減少するが、これは地方での中学校の整備によるものと考えられる。

2-3. 中学校卒業後の履歴

当時、中学校は3月卒業だったが、予修科や高等学校は9月入学で、時期がずれていた。その間、上級学校への進学に備える目的などで各種学校に入学する者もいた。このことは、『東京遊学案内』などの遊学案内書が多く刊行されていることからうかがえる。そこで、予修科志願者の遊学先をみるため、中学校卒業後の履歴がわかる「学業履歴書」がまともに残っている1898～1902年の期間について⁶⁰⁾、4名以上を確認できる学校を表6として掲げた。ただし、各中学校の補習科については1項目として扱った。

表6 中学校卒業後の修学場所

修学場所	1898	1899	1900	1901	1902
第二高等学校大学予科	1	1	1		1
中学校の補習科	1	3	3	17	32
東京専門学校			1	2	2
国民英学会	4	3	5	5	6
正則英語学校		3	8	13	13
東京英語専修学校			1	3	2
数理学館			1	4	1
数学専修義塾	1	1	1	3	

備考 札幌農学校簿書729-3、766-4、773-4、773-6、942、950、により作成した。

1898年度の時点から、第二高等学校、国民英学会、数学専修義塾などがみえる。そして、多くが東京に集中していた。特に国民英学会と正則英語学校⁶¹⁾に入る者が多く、志願者は主に英語の学力向上を求めたと推測できる。

国民英学会と正則英語学校には、地方出身の志願者も入学していた。たとえば、1898年度志願者で国民英学会に学んだ4名のうち3名は、地方の尋常中学校卒業生（吉川重治＝北海道、菊池操＝青森、上山喜明＝鳥取）（「氏名＝出身中学校所在地」を表す、以下同じ）だった。1899年度志願者では3名中2名（佐藤陽太郎＝宮城、山原外吉＝石川）、1900年度では5名中3名（杉山倫治＝北海道、関五郎＝徳島、宮城源栄＝沖縄）、1901年度は5名中1名（吉島新六＝岐阜）、1902年度は6名中1名（賀来団二＝岡山）である。正則英語学校では、1899年度は3名中2名（佐藤陽太郎＝宮城、今村伊那吉＝長野）、1900年度

は8名中2名(大原正治＝長野、宮城源栄＝沖縄)、1901年度は13名中6名(出町恵男＝青森、武田善之助＝岩手、岩田盛一＝茨城、田中泉＝山梨、村井昇一郎＝島根、荒田軍吉＝鹿児島)、1902年度は13名中7名(後藤省吾＝岩手、千葉逸郎・茂庭賜＝宮城、塚原闇＝静岡、加藤直三郎＝愛知、三浦俊彦＝鳥取、梶原治寿＝大分、村山鼎蔵＝佐賀)となる。中学校の増加とともに進学が困難になる中⁶²⁾、受験準備のため上京する志願者もいた。

1899年の「中学校令」(1899年2月6日制定、勅令第28号)および1901年の「中学校令施行規則」(1901年3月5日制定、文部省令第3号)により中学校「補習科」が法的に規定される⁶³⁾のに伴い、各中学校の補習科に進む者も増えている。1902年度からは、札幌中学校や函館中学校から同校補習科へと進んだ後に札幌農学校予修科に入学する例もみえはじめた(安孫子孝次＝札幌中学校補習科、桑山茂＝函館中学校補習科)。両校の補習科が当時から上級学校への進学準備を目的としていたかは個別に検討する必要がある⁶⁴⁾が、志願者の中学校補習科在籍者が増加する傾向は、上京せず出身中学校において上級学校への進学をめざす土壌が培われてきていることをうかがわせる。

おわりに

ここまで、札幌農学校予修科の入学者選抜の実施状況と、入学志願者の実態についてみてきた。

予修科は、設置当初の1898・1899年度には、札幌農学校のみを会場として6～10科目の試験を実施したが、募集定員を満たすことができず、追加募集をおこなわねばならなかった。

1900年度以降は、試験科目を4科目・3科目へと減らし、試験会場を東京(文部省内)や各府県中学校に拡大するなどして、定員確保に努めていく。中学校長の推薦による無試験入学を認めて優秀な学生の確保をおこなっていた。1898年度には、定員を超過していたにもかかわらず中学校退学者や在学者にも受験の機会を与える事例もみられていたが、1901・1904年度に志願した中学校在学中の者は「無資格」とみなしている。

1903年制定の「専門学校入学検定規程」により、翌1904年度から予修科でも中学校卒業者と専検合格者を同等に扱って入学試験を課すこととなる。ただ、願書や受験者名簿で、専門学校入学検定規程を利用した旨を明記する箇所は確認できなかった。予修科の志願者は、ほとんど全員が中学校卒業生で占められていた。

その中学校卒業生も、3月の卒業から7月の試験まで期間があいていたため、国民英学会や正則英語学校などの各種学校に入学する者もみられた。それらの学校は東京に集中していたが、1901年以降、各中学校の補習科に進んだ志願者が増加しており、地方でも修学場所が確保できるようになっていったとみられる。

1903年度から試験の実施場所を各府県1ヶ所に集約し、1904年度から試験科目を1科目増して4科目とした。志願者の増加に伴い、選抜の基準を徐々に高めていったと考えられ

る。そして1906年度には、試験科目を5科目に増やし試験場所を札幌・東京・熊本の3ヶ所に減じたが、志願者数は前年より増加する結果となった。

以上から、予修科は1898年度の設置当初は生徒の確保が難しく幅広く生徒を求めているが、中学校卒業者の急激な増加にあわせ、1900年度以降に試験会場の全国への拡大などによって日本各地から志願者が集まるようになっていき、1906年度には3ヶ所のみでの実施としても中学校卒業者を安定的に確保できるようになった、といえよう。

〔注〕

- 1) 『札幌農学校一覧 皇明治三十一年』(1899年1月)。
- 2) 『北大百年史』部局史、1980年3月、5ページ。
- 3) 石見和子「札幌農学校予科」(『北大百年史編集ニュース』第6号、1978年10月)。
- 4) 『北大百年史』通説、1982年7月、128-133ページ。
- 5) 『日本帝国文部省第二十六年報 皇明治三十一年』(1899年12月)から『日本帝国文部省第二十六年報 皇明治三十九年』(1908年5月)を、各年度の『文部省年報』と略す。
- 6) 「予修科規程」(注1)前掲『一覧』、48ページ。
- 7) 1898年5月18日付『官報』14ページ。
- 8) 1899年5月24日付『官報』14ページ。
- 9) 1900年5月2日付『官報』14ページ、1901年5月3日付『官報』14-15ページ。
- 10) 1902年4月25日付『官報』14ページ。
- 11) 注1)前掲『一覧』、107-108ページ。
- 12) 『札幌農学校一覧 皇明治三十三年』1900年1月、89-90ページ。
- 13) 1903年4月24日付『官報』17ページ。
- 14) 『札幌農学校一覧 皇明治三十四年』1904年3月、46ページ。
- 15) 1903年4月23日付『官報』13ページ。
- 16) 1904年5月9日付『官報』23ページ。
- 17) 「越歴」はエレキのことで、電気学を指す。
- 18) 注7)前掲『官報』。
- 19) 注9)前掲『官報』。
- 20) 注16)前掲『官報』。
- 21) 1905年5月3日付『官報』36ページ。
- 22) 1906年4月18日付『官報』34ページ。
- 23) 札幌農学校簿書978「生徒募集ニ関スル書類 明治三十五年ヨリ 教務部」所収「各中学校長へ問題送付ノ件」(1902年7月1日)。
- 24) 注23)前掲札幌農学校簿書978所収「試験問題送付ノ件」(1903年6月18日)。
- 25) 注23)前掲札幌農学校簿書978所収「入学試験問題送付ノ件」(1904年6月29日)。
- 26) 札幌農学校簿書829「生徒募集及入学ニ関スル書類 明治三十八年 教務部」所収「試験問題送付ノ件」(1905年6月26日)。
- 27) 札幌農学校簿書921「入学試験ニ関スル書類 明治三十九年七月 教務部」所収「受験者心得ノ件」(1906年6月20日)。
- 28) 注7)前掲『官報』、注8)前掲『官報』。
- 29) 注9)前掲『官報』。

- 30) 注9) 前掲『官報』。
- 31) 札幌農学校簿書766-3「入学試験ニ関スル書類 明治三十四年(一袋)」所収。
- 32) 札幌農学校簿書1013「入学志願者名簿 明治三十四年 教務部」。
- 33) 注32) 前掲札幌農学校簿書1013に「東京志願者総数」とあるうち、「予修科九十一名内 一号八十四名、三号七名」と「外ニ予修科二名 山田助教授ヨリ電報アリ」という人数を合計した。「一号」は『官報』『生徒募集』記事掲載の志願者資格第1項の「中学校ヲ卒業シタル者」、「三号」は第3項の「之(中学校卒業者…稿者注)ト同等ノ学力ヲ有」する者を指す。「山田助教授」は、山田玄太郎(札幌農学校第16期生。植物学、植物病理学、動物学担当。教務部教員)。
- 34) 注10) 前掲『官報』。
- 35) 札幌農学校簿書773-5「入学試験ニ関スル書類(一袋) 明治三十五年」所収。
- 36) 注15) 前掲『官報』。
- 37) 札幌農学校簿書1014「入学志願者名簿 明治三十六年四月 教務部」。
- 38) 札幌農学校簿書1015「入学志願者名簿 明治三十七年五月 教務部」。
- 39) 注21) 前掲『官報』。
- 40) 札幌農学校簿書832「入学志願者名簿 明治三十八年 教務部」。
- 41) 注22) 前掲『官報』。
- 42) 注27) 前掲札幌農学校簿書921所収「受験者心得ノ件」(6月20日)。
- 43) 注27) 前掲札幌農学校簿書921所収「入学試験施行ニ関スル件」(2月13日)、および2月24日付回答。
- 44) 注27) 前掲札幌農学校簿書921所収「札幌農学校入学応募者受験地表」1906年7月調による。
- 45) 1902年度『文部省年報』(1904年3月、76ページ)と1906年度『文部省年報』上巻(1908年5月、134ページ)による。
- 46) 札幌農学校簿書942「予修科入学願 明治三十一年六月 教務部」。
- 47) 第2年級入学者の中村豊二郎は三宅より後に綴じられているが、願書提出が9月28日と遅いことと関わると思われる。
- 48) 札幌農学校簿書950「予修科入学願書 明治三十二年 札幌農学校」。
- 49) 札幌農学校簿書729-3「予修科入学願書 明治三十三年七月 教務部」。
- 50) 川嶋一郎著・川嶋昭二編『吾が半世の思い出』(私家版、1992年3月、52ページ)。川嶋は入学許可は全部で50名に出されたが、入学したのは40数名だったと思うと述べる。なお、この年の入学試験や入学者の出身校について、山本美穂子「札幌農学校第23期生川嶋一郎の学生生活——学業・遠友夜学校・ロシア文学」(『北海道大学大学文書館年報』第5号、2010年3月、2-3ページ)がまとめている。
- ただし、札幌農学校簿書716「日誌 明治三十三年四月 札幌農学校巡視」7月17日条には宮部金吾教務部長の言葉として「予修科入学生四十名ノ処三十九名ナルハ高等学校ヨリ壺名転学セシモノ壺名アルニ付」という記述がある。注49) 前掲札幌農学校簿書729-3の志願者名簿の中に第1年級在籍者40名がすべて含まれていることから、高等学校からの転入生徒は中村順哉(第二高等学校大学予科に在籍)であり、無試験入学など特別な措置がとられたと推測される。
- 51) 147名分の願書が札幌農学校簿書766-4「〔予修科入学願書〕(一袋)」にある。また、「明治三十四年 予修科入学試験成績」(注31) 前掲札幌農学校簿書766-3所収)により1名、注32) 前掲農学校簿書1013により1名の出身学校や卒業年の情報を追加できる。
- 52) 注32) 前掲札幌農学校簿書1013。
- 53) 合格者47名分の願書が札幌農学校簿書773-4「予修科入学志願書 許可ノ分 明治三十五年九月 教務部」に、不合格者138名分の願書が札幌農学校簿書773-6「〔予修科入学願書〕(一袋)」に収められている。また、注35) 前掲札幌農学校簿書773-5所収「予修科入学試験成績」により、2名の出身学校と

卒業年、受験場所がわかる。

- 54) 43名分の願書が札幌農学校簿書796-6「予習科入学志願書 明治三十六年七月 教務部」にある。
また、注37) 前掲札幌農学校簿書1014により、89名の出身学校と卒業年、受験場所がわかる。札幌農学校簿書1014の見出しシールには「土木工学科」とあるが、予修科の名簿と思われる。
- 55) 191名分の受験者名簿が注38) 前掲札幌農学校簿書1015にあり、外国人留学生2名分の願書が札幌農学校簿書823「外国留学生入学志願書 明治三十七年 教務部」にある。
- 56) 159名分の受験者名簿が注40) 前掲札幌農学校簿書832にあり、外国人留学生2名分の願書が注55) 前掲札幌農学校簿書823にある。
- 57) 44名分の願書が札幌農学校簿書815-2「予修科入学願書 明治三十九年七月 教務部」にあり、外国人留学生2名分の願書が注55) 前掲札幌農学校簿書823にある。
- 58) 注27) 前掲札幌農学校簿書921所収「無試験入学許可ノ件」(1906年6月18日)。
- 59) 注4) 前掲『北大百年史』通説、130-131ページ。
- 60) 注46)、注48)、注49)、注51)、注53) 前掲の札幌農学校簿書の「予修科入学願書」所収。
- 61) 国民英学会は1888年2月にイーストレキと磯辺弥一郎によって設立され、正則英語学校は1896年10月に齊藤秀三郎によって設立された(臼田卯一郎『最近学校評論』秋霜館、1906年2月、204-223ページ)。ともに東京の神田区錦町にあり、『東京遊学案内 明治三十五年』(内外出版協会、1902年3月、158ページ)の国民英学会の項には「正則英語学校と相並び、我邦専門英語学校の優なるものなり」という評がある。
- 62) 注4) 前掲『北大百年史』通説、131ページ。
- 63) 1899年の「中学校令」では、中学校が「一箇年以内ノ補習科ヲ置クコトヲ得」と定められた。ただし、1901年の「施行規則」でも、学科目は随意とされ、入学者を本校出身者に限るかどうかも統一されておらず、各中学校で独自色を有するものだった(春日裕「中等教育の拡張と変容——戦前の「補習科」の歴史と機能」(『東京大学大学院教育学研究科教育行政学研究室紀要』第19号、2000年3月)。
- 64) 吉野剛弘「受験準備教育機関としての旧制中学校の補習科——東京府立中学校を事例として」(慶應義塾大学大学院『社会学研究科紀要』第66号、2008年)は、先行研究を紹介した上で、「中学校補習科が受験準備教育を担うものとして設置されていたという事実は掌握できるものの、実態についての分析が不十分である」と述べている。

【謝辞】 執筆にあたり、北海道大学名誉教授逸見勝亮先生よりご指導を賜りました。厚く御礼を申し上げます。

(ひろせ きみひこ／北海道大学大学文書館員)

付表1 1898年度予修科入学志願者

番号	氏名	生年	願書提出日	出身校			中学校卒業後の履歴	在籍
				学校名	道府県	卒業年		
1	根岸泰介	1879	6. 8.	札幌尋常中学校	北海道	1898	—	◎
2	河村精八	1877	6.23.	日本中学校	東京	1897	第四高等学校大学予科第二部 (1897-1898.6)	◎
3	小椋科三	1880	8.16.	長野県尋常中学校	長野	1898	—	◎
4	小藤孝徳	1874	8.16.	尋常中学共立学校	東京	1894	数学専門学校 (1888.7-1900.7)、第四高等学校予科 (1894.9-1895.7)、第四高等学校大学予科三部 (1895.7-)	◎
5	三宅勉	1880	5.17.	東京府尋常中学校	東京	1898	—	○
6	西川万里	1877	5.23.	尋常中学北鳴学校	北海道	退学	東京専門学校英語専修科 (1895.5-12)、第一高等学校医学部 (1896.7-1897.7)、第二高等学校大学予科第二部 (1897.9-1898.2)、札幌ドーデールの元で英語を学習 (1898.3-)	○
7	柳川鑑蔵	1878	5. 3.	明治義会尋常中学校	東京	1898	明治義会尋常中学校補習科 (1898.4-)	○
8	小山田量	1874	5.31.	城北尋常中学校	東京	1897	—	
9	花田弘毅	1877	6. 5.	青森県第一尋常中学校	青森	1897	—	○
10	竹内節	1879	6. 6.	福井尋常中学校	福井	1897	東京独逸学協会学校別科乙種	
11	杉山倫治	1880	6.21.	札幌尋常中学校	北海道	1898	—	○
12	平岩拵	1878	6.20.	札幌尋常中学校	北海道	1898	—	○
13	高村俣治	1878	6. 9.	錦城学校尋常中学校	東京	1897	東京英学院	○
14	萩野谷滋	1877	6.21.	茨城県尋常中学校	茨城	1898	—	○
15	山田勝伴	1878	6.25.	札幌尋常中学校	北海道	1898	—	○
16	菊池操	1874	8.24.	青森県尋常中学校	青森	1894	第二高等学校旧予科 (1894.9-不明)、国民英学会 (1896.9-不明)、仙台数学院専修科 (1897.9-不明)	○
17	斉藤貞	1880	8.26.	札幌尋常中学校	北海道	1898	—	○
18	三沢新三	1875	8.31.	札幌尋常中学校	北海道	1898	—	○
19	森谷鉄造	1880	8.27.	札幌尋常中学校	北海道	1898	—	○
20	古野嵩茂	1878	8.16.	札幌尋常中学校	北海道	1897	—	○
21	稲川真佐男	1878	8. 5.	正則尋常中学校	東京	1898	—	○
22	飯塚太郎	1879	8.19.	札幌尋常中学校	北海道	1898	—	○
23	市川柳三郎	1874	8.16.	日本中学校	東京	1894	第二高等学校 (1894.9-1895.3)、東京専修学校理財科 (1895.3-1896.7)、横浜税関監吏	○

番号	氏名	生年	願書提出日	出身校			中学校卒業後の履歴	在籍
				学校名	道府県	卒業年		
24	上山喜明	1881	8.19.	鳥取県尋常中学校	鳥取	1898	東京数学院数学専門部 (1898.5-)、国民英学会 (1898.6-)、東京至誠学院 (1898.6-)	○
25	吉川重治	1878	8.19.	札幌尋常中学校	北海道	1897	国民英学会 (1898.1-7)	○
26	金子昌太郎	1876	9.17.	群馬県尋常中学校	群馬	1897	東京農科大学乙科 (1897-)	○
27	大野立	1879	6.23.	日本中学校	東京	1898	—	
28	中村豊二郎	—	9.28.	尋常中学郁文館	東京	1895	第五高等学校三部 (1895.9-1896.12、1897.7-1898.1)、独乙協会専修科 (1896.12-1897.7)、慶應義塾大学部 (1898.5-9)	◎
29	川口順次郎	1877	6.17.	明治義会尋常中学校	東京	5年級退学	大成学館高等学校受験科 (1897.9-不明)	○
30	石田研	1881	6.28.	札幌尋常中学校	北海道	5年級在学	—	○
31	印南新助	1877	6.16.	大成学館高等学校受験科	東京	1897	国民英学会 (1897.5-)、数学専修義塾 (1897.5-11)、数学院理科撰科 (1898.4-)	
32	松山通	1879	6. 8.	福島県尋常中学校	福島	4年級修了	—	
33	越前谷民治	1878	6.25.	札幌尋常中学校	北海道	5年級在学	—	
34	小川義雄	1879	6.25.	札幌尋常中学校	北海道	5年級在学	—	○
35	河井茂樹	1880	6.28.	札幌尋常中学校	北海道	5年級在学	—	
36	五味基吉	1880	6.13.	錦城学校尋常中学校	東京	5年級在学	—	

備考1)「番号」は、原則として出典とした資料の順序に従って排列したものに、便宜上付した。以下、付表2～9についても同じ。

2)「氏名」「生年」「願書提出日」「学校名」「卒業年」「中学校卒業後の履歴」は、札幌農学校簿書942「予修科入学願 明治三十一年六月 教務部」による。

3)「在籍」は、入学者の目安として、『札幌農学校一覧 自明治三十年至明治三十一年』（1899年1月）の「学生々徒姓名」への記載の有無を示し、「○」は第1年級、「◎」は第2年級在籍を表す。

4)各欄のうち、空白は項目に該当する資料がないことを示し、「—」は資料に記載がないことを表す。以下、付表2～9についても同じ。

付表2 1899年度予修科入学志願者

番号	氏名	生年	願書提出日	出身校			中学校卒業後の履歴	在籍
				学校名	道府県	卒業年		
1	有賀光蔭	1880	6.15. 6.24.	日本中学校	東京	1899	—	◎
2	木藤栄吉	1877	7. 6.	成城学校尋常科	東京	1897	第二高等学校大学予科 (1897.9-1899.6)	◎
3	黄金井解三	1875	8.25.	第一高等学校第二部工科	東京	2年級在学	—	◎

番号	氏名	生年	願書 提出日	出身校			中学校卒業後の履歴	在籍
				学校名	道府県	卒業年		
4	小池一	1878	8.25.	三重県第一中学校	三重	1898	第四高等学校大学予科二部 (1898.9-1899.3)	◎
5	佐藤陽太郎	1876	8.16. 9. 8.	宮城県尋常中学校	宮城	1898	正則英語学校 (1898.5-1899.6)、国民英学会 (1898.5-1899.6)、東京数学院 (1898.5-1899.6)、数学専修義塾 (1898.5-1899.6)	○
6	中村精一	1877	8.24. 9. 9.	和歌山県尋常中学校	和歌山	1897	—	○
7	木堂樸作	1876	8.19.	尋常中学済々黌	熊本	1898	第五高等学校二部 (1898.7-1899.8)	○
8	今井熊治郎	1879	8.20.	小浜尋常中学校	福井	1899	—	
9	種田徳三郎	1879	8.22.	神田中学校	東京	1898	—	○
10	小島清	1880	6.14.	青山学院尋常中学部	東京	1899	—	○
11	伊東栄	1878	6.13.	青山学院尋常中学部	東京	1899	—	
12	橋本銀次郎	1879	7.26.	札幌尋常中学校	北海道	1899	—	○
13	三宅康次	1882	6. 7.	札幌尋常中学校	北海道	1899	—	○
14	勝浦達	1878	6.20.	札幌尋常中学校	北海道	1899	—	○
15	越前谷民治	1878	6. 7.	札幌尋常中学校	北海道	1899	—	○
16	河野孝太	1882	5.25.	札幌尋常中学校	北海道	1899	—	○
17	永根晋	1880	6. 7.	札幌尋常中学校	北海道	1899	—	○
18	柳田玄俊	1879	6. 8.	札幌尋常中学校	北海道	1899	—	○
19	河井茂樹	1880	6. 5.	札幌尋常中学校	北海道	1899	—	○
20	大関雄只	1879	6.20.	札幌尋常中学校	北海道	1899	—	○
21	湯地定武	1881	6.19.	札幌尋常中学校	北海道	1899	—	○
22	梁田参	1880	6.14.	札幌尋常中学校	北海道	1899	—	○
23	石井富之助	1881	6.	札幌尋常中学校	北海道	1899	—	○
24	桜井忠尾	1880	6.19.	札幌尋常中学校	北海道	1899	—	○
25	君島栄之助	1874	6. 5.	札幌尋常中学校	北海道	1899	—	○
26	菅野省三	1882	5.30.	札幌尋常中学校	北海道	1899	—	○
27	笠原忠三郎	1877	6. 7.	札幌尋常中学校	北海道	1899	自宅にて独学 (1899.4-)	○
28	伊庭野健	1879	6.20.	札幌尋常中学校	北海道	1899	—	○
29	村山正二	1879	5.12.	新潟県尋常中学校	新潟	1899	新潟県中学校補修科 (1899.4-)	○
30	大竹温孝	1881	5.12.	新潟県尋常中学校	新潟	1899	新潟県中学校補修科 (1899.4-)	○
31	東郷実	1881	7.26.	東京府中学校	東京	1899	—	○
32	竹尾茂彦	1882	6.15.	神田中学校	東京	1899	—	○
33	米山豊	1879	5.28.	麻布中学校	東京	1899	麻布中学校研翳科 (1899-)	○
34	影山滋樹	1878	—	麻布中学校	東京	1898	麻布中学校5年級 (1898.4-1899.4)	○
35	江刺家昂	1878	6.19.	海軍予備校	東京	1898	—	○

番号	氏名	生年	願書 提出日	出身校			中学校卒業後の履歴	在籍
				学校名	道府県	卒業年		
36	宮坂藏三郎	1879	—	中学郁文館	東京	1898	正則英語学校(1898.4-)	○
37	足助素一	1878	6.16.	同志社尋常中学校	京都	1899	—	○
38	今村伊那吉	1881	6.30.	長野県尋常中学校	長野	1898	正則英語学校(1898.4-)	○
39	北沢小八郎	1880	6.1.	長野県尋常中学校	長野	1899	—	○
40	渡辺中	1880	6.10.	岡山尋常中学校	岡山	1899	—	○
41	三橋信治	1879	6.9.	正則尋常中学校	東京	1898	—	○
42	小川良五郎	1879	6.17.	函館尋常中学校	北海道	1899	—	○
43	池田競	1879	6.17.	函館尋常中学校	北海道	1899	—	○
44	原富雄	1881	6.8.	函館尋常中学校	北海道	1899	—	○
45	玉山堅一	1880	5.24.	函館尋常中学校	北海道	1899	—	○
46	鈴木寧	1881	9.14.	札幌尋常中学校	北海道	1899	—	○
47	河内完治	1880	6.2.	愛媛県尋常中学校	愛媛	1899	—	○
48	成田昌治	1879	6.14.	青森県第二尋常中学校	青森	1899	—	○
49	住友璋一	1879	6.	京都府尋常中学校	京都	1898	同志社高等科(1898.9-1899.2)	○
50	美濃部貞雄	1878	6.15.	早稲田尋常中学校	東京	1899	—	○
51	石沢雄右衛門	1880	6.5.	山形県尋常中学校	山形	1899	—	○
52	竹内与人	1879	6.17.	大成学館尋常中学	東京	1899	和仏法律学校(1899.1-6)	○
53	本多政外	1877	6.	東京中学校	東京	1897	国民英学会(1897-)、維新館(1897-)	○
54	堀三孝	1876	6.10.	荘内尋常中学校	山形	1898	—	
55	盛賢蔵	1880	6.13.	石川県第一尋常中学校	石川	1899	—	
56	山原外吉	1878	6.14.	石川県尋常中学校	石川	1898	国民英学会(1898.9-)	

備考1)「氏名」「生年」「願書提出日」「学校名」「卒業年」「中学校卒業後の履歴」は、札幌農学校簿書950「予修科入学願書 明治三十二年 札幌農学校」による。

2)「在籍」は、入学者の目安として、『札幌農学校一覧 自明治三十二年至明治三十三年』（1900年1月）の「学生々徒姓名」への記載の有無を示し、「○」は第1年級、「◎」は第2年級在籍を表す。

付表3 1900年度予修科入学志願者

番号	氏名	生年	願書 提出日	出身校			中学校卒業後の履歴	在籍
				学校名	道府県	卒業年		
1	中村順哉	1879	6.18.	米沢中学校	山形	1899	第二高等学校大学予科二部農科(1899.9-)	○
2	藤井為次郎	1881	5.24.	正則中学校	東京	1899	正則中学校補習科(1899.4-)	○
3	鳥居懷五郎	1878	5.14.	順天中学校	東京	1900	—	○
4	橋本健三郎	1881	5.18.	大阪府第五尋常中学校	大阪	1899	—	○
5	小池俊三	1881	5.17.	和歌山県第一中学校	和歌山	1900	—	○
6	関司	1879	6.20.	松本中学校	長野	1900	—	○

番号	氏名	生年	願書 提出日	出身校			中学校卒業後の履歴	在籍
				学校名	道府県	卒業年		
7	戸田 務	1881	6. 19.	静岡中学校	静岡	1900	—	
8	狩野時二	1879	6. 14.	埼玉和英学校	埼玉	1897	東京数学院夏期講習会 (1897.7-8)、自宅にて 教育学・博物学を学習	○
9	逢坂信忠	1882	5. 17.	新潟県中学校	新潟	1900	—	○
10	村上又二郎	1880	5. 30.	大成中学校	東京	1900	川路亮の元で英語を学習	○
11	三木鼎	1880	5. 14.	丸亀中学校	香川	1900	—	○
12	大光寺毅夫	1881	6. 8.	盛岡中学校	岩手	1900	—	○
13	川島一郎	1880	6. 11.	中学郁文館	東京	1900	—	○
14	中村 胖	1882	6. 18.	札幌中学校	北海道	1900	—	○
15	三宅於菟松	1882	5. 20.	新発田中学校	新潟	1900	新発田中学校乙補修科 (1900.4-)	○
16	末光 績	1881	5. 8.	同志社中学校	京都	1900	—	○
17	渡辺 環	1876	6.	郁文館	東京	1899	—	○
18	素木得一	1882	6. 11.	札幌中学校	北海道	1900	—	○
19	渡辺 董	1878	6. 8.	日本中学校	東京	1898	正則英語学校 (1898-)	○
20	宮城源栄	1877	6. 18.	沖縄県尋常中学校	沖縄	1899	国民英学会 (1899.5- 1900.3)、正則英語学校 (1900.4-5)	○
21	栗飯原実	1881	6. 18.	札幌中学校	北海道	1900	—	○
22	色部米作	1882	5. 24.	松本中学校	長野	1900	—	○
23	竹田 茂	1880	5. 24.	中学郁文館	東京	1900	—	○
24	鈴木力治	1879	5.	荘内中学校	山形	1900	—	○
25	塚田知治	1882	5. 30.	札幌中学校	北海道	1900	—	○
26	溝口喜久馬	1881	6. 18.	正則中学校	東京	1900	—	○
27	恩地 剛	1877	6. 4.	成城学校中等科	東京	1900	成城学校高等科 (1900-)	○
28	工藤敏雄	1879	6.	東奥義塾尋常中学部	青森	1897	—	○
29	星野熊雄	1881	6. 12.	札幌中学校	北海道	1900	—	
30	安部 忠一	1882	6. 14.	中学修猷館	福岡	1900	—	○
31	小川善八	1880	6. 8.	高松中学校	香川	1900	—	○
32	高橋孝治	1882	6. 4.	札幌中学校	北海道	1900	—	○
33	佐瀬 諠雄	1877	5. 30.	札幌中学校	北海道	1900	—	○
34	小泉藤之介	1879	5. 27.	神田中学校	東京	1899	—	○
35	松永信敬	1881	5. 8.	埼玉県第一中学校	埼玉	1900	—	○
36	安東多加喜	1878	6. 9.	大分尋常中学校	大分	1898	—	○
37	坂本太次郎	1880	6. 1.	青森県第二中学校	青森	1900	—	○
38	松村 正一	1879	5. 16.	順天中学校	東京	1900	正則英語学校 (1900.4-)	○
39	角 完	1883	6. 5.	札幌中学校	北海道	1900	—	○
40	伊崎 清	1883	6. 2.	札幌中学校	北海道	1900	—	○
41	佐宗恵輔	1879	5. 19.	麻布中学校	東京	1899	自習 (1899-1900)	○
42	小菅 貢	1878	6. 12.	栃木県尋常中学校	栃木	1899	東洋語学校 (1899.5-7)	
43	渋江辰比古	1880	6. 12.	札幌中学校	北海道	1900	—	

番号	氏名	生年	願書 提出日	出身校			中学校卒業後の履歴	在籍
				学校名	道府県	卒業年		
44	五味基吉	1880	5.19.	錦城中学校	東京	1899	—	
45	七尾祐助	1879	5.28.	札幌中学校	北海道	1900	—	
46	新田英作	1879	5.25.	札幌中学校	北海道	1900	—	
47	田村顕一	1879	6.17.	岐阜中学校	岐阜	1898	青山学院中学科 (1899.10-1900.3)	
48	向井昇	1881	—	札幌中学校	北海道	1900	—	
49	杉山倫治	1880	6.19.	札幌尋常中学校	北海道	1898	国民英学会 (1898.4-7)、 札幌農学校 (1898.7-12)、 国民英学会 (1899.1-)	
50	吉川潔	1881	6.18.	札幌中学校	北海道	1900	—	
51	関五郎	1877	6.5.	徳島尋常中学校	徳島	1899	国民英学会 (1899.4-1900.2)、 数理学館 (1899.4-1900.2)	
52	後藤六郎	1879	5.23.	大分中学校	大分	1899	大分中学校補修科 (1899.3-1900.5)	
53	鈴木逸太	1882	5.	京華中学校	東京	1900	—	
54	田中友右衛門	1879	5.28.	順天中学校	東京	1900	—	
55	小原重雄	1876	6.19.	学習院中等学科	東京	1900	—	○
56	川田二郎	1878	6.20.	明治義会尋常中学校	東京	1898	正則英語学校 (1899.7-1900.3)	
57	林田寅次郎	1878	6.19.	開成尋常中学校	東京	1898	正則英語学校 (1898.4-)	
58	鶴岡文四郎	1881	6.18.	神田中学校	東京	1900	—	
59	木佐貫重彦	1879	6.18.	順天中学校	東京	1900	—	
60	久我文五郎	1880	6.11.	神田中学校	東京	1899	—	
61	飯沼善一郎	1879	5.28.	神田中学校	東京	1900	物理学校 (1900.3-)、 正則英語学校	
62	吉岡太八郎	1881	5.29.	鳥根県第一中学校	鳥根	1900	—	
63	中畑繁樹	1880	6.19.	青森県第一中学校	青森	1900	—	
64	森山信通	1880	5.19.	中津中学校	大分	1900	—	
65	渋谷貴重	1882	5.8.	神田中学校	東京	1900	—	
66	山村悦造	1880	5.21.	鳥取県第一中学校	鳥取	1900	—	
67	渡辺諄三	1882	5.29.	鳥根県第一中学校	鳥根	1900	—	
68	八木享	1879	6.11.	浜松中学校	静岡	1900	—	
69	大原正治	1878	6.13.	長野県尋常中学校	長野	1899	斉藤秀三郎の元で英語を 学習 [正則英語学校カ] (1899.9-1900.6)	
70	深見久七	1876	6.18.	錦城学校尋常中学校	東京	1898	正則英語学校 (1898.7-1899.4)、 金川高等小学校 (1899.5-1900.4、 教員)	
71	保坂栄治郎	1880	6.19.	神田中学校	東京	1900	国民英学会 (1900.5-)、 数学専修義塾 (1900.5-)	
72	北島岩	1881	6.17.	和歌山県第一中学校	和歌山	1900	—	

番号	氏名	生年	願書提出日	出身校			中学校卒業後の履歴	在籍
				学校名	道府県	卒業年		
73	若田部祐三	1879	6.19.	明治義会中学校	東京	1898	国民英学会(1898.4-)、明治義会(1898.8、助手)、日本中学校(1898.10-1899.3)、東京英語専修学校(1899.4-7)、東京専門学校史学英文科(1899.9-)	
74	吉成竹治	1878	6.20.	明治義会尋常中学校	東京	1899	—	
75	永瀬式良	1882	6.18.	佐賀県第一中学校	佐賀	1900	—	
76	杉崎慶治	1881	6.18.	順天中学校	東京	1900	—	
77	芝本政之丞	1880	6.20.	成城学校	東京	1899	—	

備考1)「氏名」「生年」「願書提出日」「学校名」「卒業年」「中学校卒業後の履歴」は、札幌農学校簿書729-3「予修科入学願書 明治三十三年七月 教務部」による。

2)「在籍」は、入学者の目安として、『札幌農学校一覧 自明治三十三年至明治三十四年』(1900年12月)の「学生々徒姓名」への記載の有無を示し、「○」は第1年級在籍を表す。

付表4 1901年度予修科入学志願者

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験場所	在籍
			学校名	道府県	卒業年			
1	三宅於菟松	1882	北蒲原中学校	新潟	1900	北蒲原中学校補習科(1900.4-6)	無試験	○
2	林靖三	1882	東京府第一中学校	東京	1901	—	東京	○
3	田中慎	1878	東京府尋常中学校	東京	1900	麻布中学校補習科(1900.9-1901.6)	東京	○
4	松井秀吉	1880	八尾中学校	大阪	1901	—	八尾	○
5	宮沢維石	1880	麻布中学校	東京	1900	—	東京	○
6	吉川藤左衛門	1880	麻布中学校	東京	1901	—	東京	○
7	益田律治	1880	中学済々黌	熊本	1900	—	済々	○
8	辻垣喜三	1882	郡山中学校	奈良	1901	—	郡山	○
9	村山吉三郎	1883	札幌中学校	北海道	1901	—	札幌	○
10	木田一三	1879	麻布中学校	東京	1901	—	東京	○
11	湊賢治	1883	青森県第二中学校	青森	1901	—	青森二	○
12	山中巍	1880	錦城中学校	東京	1900	国民英学会(1900.3-)	東京	
13	横山直也	1883	京華中学校	東京	1900	正則英語学校(1900.4-)	東京	○
14	吉木一朗	1882	斐太中学校	岐阜	1900	—	東京	
15	山村悦造	1880	鳥取県第一中学校	鳥取	1900	—	東京	○
16	桑田義備	1882	大阪府第四中学校	大阪	1901	—	茨木	
17	河村辰雄	1882	攻玉社中学校	東京	1899	攻玉社温習科(1899.4-1900.4)、正則英語学校(1900.10-)、数理学舎(1900.10-)	東京	
18	原田健吉	1878	中学済々黌	熊本	1901	—	済々	○
19	米沢治太郎	1880	青森県第一尋常中学校	青森	1898	同志社(1899.9-1900)	東京	
20	高松正信	1884	麻布中学校	東京	1901	—	東京	○
21	二宮徳	1882	札幌中学校	北海道	1901	—	札幌	○

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験場所	在籍
			学校名	道府県	卒業年			
22	吉田貞造	1880	早稲田中学校	東京	1901	—	東京	○
23	田中泉	1880	山梨県尋常中学校	山梨	1899	正則英語学校（1900.4-1901.4）	東京	○
24	吉沢潤平	1879	静岡中学校	静岡	1900	—	東京	○
25	河渡善太郎	1881	斐太尋常中学校	岐阜	1899	—	東京	○
26	外崎裕	1880	開成中学校	東京	1899	弘前中学校（1899.5-1900.4、教員）、正則英語学校高等科（1900.4-1901.6）	東京	○
27	橋都正農夫	1880	長野県尋常中学校	長野	1899	—	札幌	○
28	岡本半次郎	1882	広島県第二中学校	広島	1901	広島県第二中学校補習科（1901.5-6）	福山	○
29	真島政吉	1880	中学郁文館	東京	1901	—	東京	○
30	瀬川安之助	1881	盛岡中学校	岩手	1900	秋田県第一中学校補習科（1901.4-）	札幌	○
31	服部辰雄	1880	茨城県中学校	茨城	1900	—	東京	
32	秋元貞次郎	1883	新発田中学校	新潟	1901	新発田数学北枢校（1899.3-）、新発田中学校補習科（1901.4-）	新発田	○
33	芋川万里次	1881	東京府中学校	東京	1900	—	東京	○
34	池田次郎	1878	城北中学校	東京	1899	早稲田専門学校（1899.4-1900.9）、早稲田中学補習科（1900.10-1901.4）、早稲田専門学校大学予科（1901.4-）、自宅にて英漢数等修業（1899.3-）	東京	○
35	菊池貞作	1880	函館中学校	北海道	1900	—	札幌	○
36	吉田守一	1882	札幌中学校	北海道	1901	—	札幌	○
37	相原金治	1879	宮城県第一中学校	宮城	1900	宮城県第一中学校補習科（1900.5-6）	宮城第一	○
38	松浦廉	1880	学習院中等学科	東京	1900	—	東京	○
39	大野浜造	1883	佐倉中学校	千葉	1901	—	佐倉	○
40	行田又三郎	1882	京華中学校	東京	1901	—	東京	○
41	千葉道哉	1880	城北中学校	東京	1901	—	東京	○
42	高橋栄治	1883	札幌中学校	北海道	1901	—	札幌	○
43	橋本義夫	1881	東京中学校	東京	1901	東京中学校補習科（1901.4-）	東京	○
44	田中才蔵	1882	中学済々黌	熊本	1901	—	札幌	○
45	三浦慶太郎	1882	荘内中学校	山形	1901	—	荘内	○
46	熱海彦	1880	宮城県第一中学校	宮城	1901	宮城県第一中学校補習科（1901.4-）	宮城第一	○
47	三吉朋十	1882	東北中学校	宮城	1901	—	東京	○
48	朝倉勲	1884	札幌中学校	北海道	1901	—	札幌	
49	大熊武司	1882	札幌中学校	北海道	1901	—	札幌	
50	柳町寿男	1880	米沢中学校	山形	1901	—	札幌	
51	永根義雄	1884	札幌中学校	北海道	1901	—	札幌	

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験場所	在籍
			学校名	道府県	卒業年			
52	斉藤孝太郎	1880	宮崎中学校	宮崎	1901	—	札幌	
53	正見豊松	1882	札幌中学校	北海道	1901	—	札幌	
54	伊庭野清七	1883	札幌中学校	北海道	1901	—	札幌	
55	古田貢	1884	札幌中学校	北海道	1901	—	札幌	
56	梶	1881	札幌中学校	北海道	1901	—	札幌	
57	吉村栄五郎	1882	札幌中学校	北海道	1901	—	札幌	
58	中沢毅一	1884	山梨県中学校	山梨	1901	—	山梨	
59	村山義孝	1882	函館中学校	北海道	1901	—	東京	
60	森留造	1880	順天中学校	東京	1901	—	受験セズ	
61	吉島新六	1880	斐太中学校	岐阜	1899	国民英学校 (1899-)	東京	
62	鈴木俊直	1883	函館中学校	北海道	1901	—	東京	
63	西村淳造	1877	順天中学校	東京	1900	国民英学会 (1900.3-)、 数学専修義塾 (1900.3-)	東京	
64	菅原泰治	1880	日本中学校	東京	1899	正則英語学校 (1899.3-)	東京	
65	石川隆	1878	順天中学校	東京	1901	数学専修義塾 (1901.4-6)	東京	
66	新名蓋	1881	東京中学校	東京	1901	東京中学校補習科 (1901-)	東京	
67	北村謹	1882	城北中学校	東京	1901	—	東京	
68	瀧田欽爾	1881	東京中学校	東京	1901	—	東京	
69	長尾景隆	1878	大分中学校	大分	1900	東京法学院 (1900.9-)	東京	
70	吉川花昇	1880	浜松中学校	静岡	1899	—	東京	
71	尾越俊輔	1880	中学郁文館	東京	1900	—	東京	
72	山本春治	1882	錦城中学校	東京	1901	—	東京	
73	村上恵之助	1881	荘内中学校	山形	1901	—	東京	
74	山本素位	1884	錦城中学校	東京	1901	—	東京	
75	湯川定之助	1883	東京中学校	東京	1901	—	東京	
76	沢田龍吉	1879	正則中学校	東京	1900	—	東京	
77	武藤清	1874	錦城中学校	東京	1901	錦城中学校補習科 (1901.4-5)	東京	
78	岩田四郎	1881	錦城中学校	東京	1901	—	東京	
79	弓削吉太郎	1881	神田中学校	東京	1900	—	東京	
80	久我文五郎	1880	神田中学校	東京	1899	—	東京	
81	飯沼善一郎	1879	神田中学校	東京	1900	正則英語学校 (1900.3-1901.4)、 数理学館 (1901.2-6)	東京	
82	青山繁	1883	福井県農学校	福井	1901	福井県農学校農科・理科 (1901.4-、助手)	東京	
83	小林富造	1880	順天中学校	東京	1901	—	東京	
84	石付秀一	1882	正則中学校	東京	1900	—	東京	
85	平井新六	1883	麻布中学校	東京	1901	—	東京	

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験場所	在籍
			学校名	道府県	卒業年			
86	石橋角太郎	1883	京都府第一中学校	京都	1901	—	東京	
87	松永正雄	1881	札幌中学校	北海道	1901	—	東京	
88	山口三郎	1880	日本中学校	東京	1899	国民英学会	東京	
89	生駒秀雄	1878	青森県第一中学校	青森	1899	東京工業学校（1899.9–1900.9）	東京	
90	高田種松	1879	石川県第一尋常中学校	石川	1899	麻布中学校（1900.4–1901.3）	東京	
91	伊東熊次郎	1881	松本中学校	長野	1900	—	東京	
92	向坂賢	1881	静岡中学校	静岡	1900	—	東京	
93	千葉淳吉	1878	麻布中学校	東京	1900	—	東京	
94	横山国教	1882	堺中学校	大阪	1901	—	東京	
95	服部喜八	1882	麻布中学校	東京	1901	—	東京	
96	西村節蔵	1879	京都府第一中学校	京都	1900	商工中学補習科（1900.10–）	東京	
97	後藤省吾	1881	盛岡中学校	岩手	1901	開成中学校補習科（1901.4–）、英語専修学校（1901.4–）、数理学館（1901.4–）	東京	
98	桂達二	1880	正則中学校	東京	1900	正則中学校補習科（1900–）	東京	
99	黒田直綱	1878	明治義会中学校	東京	1900	英語専修学校高等科（1900.9–1901.2）、東京専門学校高等予科（1901.5–）	東京	
100	武田善之助	1881	盛岡中学校	岩手	1901	開成中学校補習科（1901.4–）、正則英語学校特別受験科（1901.4–）	東京	
101	大東興之助	1884	正則中学校	東京	1901	—	東京	
102	加藤作五郎	1878	麻布中学校	東京	1900	—	東京	
103	千葉亮治	1882	兵庫県甲種蚕業学校本科	兵庫	1900	—	東京	
104	川崎修四郎	1879	順天中学校	東京	1900	順天求合社官立官立学校入学受験科（1900.4–6）、英語専修学校（1900.4–6）、東京学院官立学校受験科（1900.11–）	東京	
105	海津四郎	1881	三重県第一中学校	三重	1901	—	三重第一	
106	賀来团二	1880	関西中学校	岡山	1901	—	行違ヒ受験セズ	
107	香西金右衛門	1882	関西中学校	岡山	1901	—	行違ヒ受験セズ	
108	渡辺好平	1882	太田中学校	群馬	4 年級修業	—	無資格	
109	三池丈一	1883	東京中学校	東京	5 年級在学	—	無資格	

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験場所	在籍
			学校名	道府県	卒業年			
110	山口宗兵衛	1881	鹿児島県第一中学校	鹿児島	5年級在学	—	無資格	
111	岸村嘉樹	1882	麻布中学校	東京	1901	—	札幌 欠席	
112	香川弥一郎	1879	富岡中学校	徳島	1901	—	富岡	
113	加賀野井久寿彦	1881	高知県第一中学校	高知	1901	—	受験セズ	
114	大内辰雄	1880	宮城県中学校	宮城	1900	外国語学校 (1901.2-4)	盛岡	
115	池田晃二	1880	佐賀県第一中学校	佐賀	1901	—	受験セズ	
116	高山美寿一	1883	松本中学校	長野	1901	—	松本	
117	佐藤武一	1880	青森第二中学校	青森	1901	—	青森二	
118	小野雄治	1880	青森県師範学校附属中学校	青森	1896	青森県第一中学校 (1896.5-1901.3)	青森一	
119	根本弘毅	1883	神田中学校	東京	1899	第二高等学校医学部 (1899.9-1900.6)	欠席	
120	岩崎安久	1882	大阪府第一中学校	大阪	1900	—	欠席	
121	鈴木逸太	1882	京華中学校	東京	1900	正則英語学校 (1900.9-), 数理学館 (1900.9-)	札幌 欠席	
122	江渡議七	1884	青森県第二中学校	青森	1901	—	札幌 欠席	
123	浮田儀四郎	1877	富山県尋常中学校	富山	1898	—	札幌 欠席	
124	岩田盛一	1881	水戸中学校	茨城	1900	正則英語学校高等科 (1901.4-)		
125	真栄平房貞	1879	沖縄県中学校	沖縄	1900	沖縄県中学校補習科 (1900.4-1901.3)		
126	伊藤章	1881	鳥根県第一中学校	鳥根	1901	—		
127	川田治一	1880	明治義会中学校	東京	1901	—		
128	水谷元二郎	1881	岐阜中学校	岐阜	1901	—		
129	松本肇	1882	鳥根県第一中学校	鳥根	1901	—		
130	出町恵男	1881	青森県第二中学校	青森	1900	正則英語学校 (1900.10-1901.5)		
131	桑畑一平	1882	順天中学校	東京	1901	国民英学会		
132	丸山茂一郎	1880	長野中学校	長野	1901	長野中学校補習科 (1901.3-6)		
133	堀江善治	1879	葦山尋常中学校	静岡	1899	—		
134	内田直	1879	中頸城尋常中学校	新潟	1898	—		
135	木村恕	1882	大成中学校	東京	1901	—		
136	折下吉延	1881	東京府尋常中学校	東京	1900	正則英語学校 (1900.9-)		
137	岡田守雄	1881	順天中学校	東京	1901	—		
138	平岡栄雄	1880	順天中学校	東京	1900	金沢英学院 (1900.5-不明)、東京専門学校大学部高等予科 (1901.4-)		
139	村井昇一郎	1880	鳥根県第一中学校	鳥根	1901	正則英語学校 (1901.4-)		

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験場所	在籍
			学校名	道府県	卒業年			
140	水上正知	1877	山梨県中学校	山梨	1898	山口高等学校第三部 (1898.9-1900.10)		
141	楠野辰三郎	1880	郁文館中学	東京	退学	—		
142	斉藤定四郎	1880	中学郁文館	東京	5年級 在学	—		
143	平田祖助	1885	東京学院	東京	在学	—		
144	荒田軍吉	1880	博約義塾中学部	鹿児島	1900	正則英語学校 (1901.4-)、数学専修義塾 (1901.4-)		
145	荒武宗儀	1881	日本中学校	東京	5年級 在学	—		
146	水谷最	1884	麻布中学校	東京	4年級 在学	—		
147	鮫島三之助	1882	日比谷中学校	東京	5年級 在学	—		
148	今野琢美		宮城第一中学校	宮城	4年級 在学		無資格	
149	奥田有義		広島第一中学校	広島	3年級 修業		無資格	

- 備考1)「氏名」「生年」「学校名」「卒業年」「中学校卒業後の履歴」は、No1～No147を札幌農学校簿書766-4「〔予修科入学願書〕（一袋）」による。そして、No148を札幌農学校簿書766-3「入学試験ニ関スル書類 明治三十四年（一袋）」所収「明治三十四年 予修科入学試験成績」、No149を札幌農学校簿書1013「入学志願者名簿 明治三十四年 教務部」によって補った。
- 2)「受験場所」は、札幌農学校簿書766-3「入学試験ニ関スル書類 明治三十四年（一袋）」所収「明治三十四年 予修科入学試験成績」および札幌農学校簿書1013「入学志願者名簿 明治三十四年 教務部」による。
- 3)「在籍」は、入学者の目安として、『札幌農学校一覧 自明治三十四年至明治三十五年』（1901年12月）の「学生々徒姓名」への記載の有無を示し、「○」は第1年級在籍を表す。

付表5 1902年度予修科入学志願者

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験場所	結果	在籍
			学校名	道府県	卒業年				
1	鈴木忠誠	1878	早稲田中学校	東京	1899	第二高等学校大学 予科二部（農科） (1899.9-1902.6)	無試験	無	○
2	肥爪美貞	1883	茨木中学校	大阪	1902	—	無試験	無	
3	万喜八郎	1883	畝傍中学校	奈良	1901	畝傍中学校補習科 (1901.4-1902.2)	無試験	無	
4	桑山茂	1882	函館中学校	北海道	1902	函館中学校補習科 (1902.4-)	無試験	無	○
5	見田隆道	1878	順天中学校	東京	1902	—	無試験	無	○
6	塚原閏	1882	蕪山中学校	静岡	1902	正則英語学校臨時 受験科 (1902.4-)	無試験	無	○
7	清水和三郎	1880	同志社中学部	京都	1898	兵役 (1899.12- 1900.11)、勤務演 習に服務 (1901.7- 10)、札幌にて勉 学中 (1902.2-)	無試験	無	○

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験場所	結果	在籍
			学校名	道府県	卒業年				
8	森川孫蔵	1879	高等師範学校附属中学校	東京	1899	正則英語学校 (1899-1901)	無試験	無	○
9	川村只吉	1884	神奈川県立第一中学校	神奈川	1902	神奈川県立第一中学校補習科 (1902.4-6)	無試験	無	○
10	百瀬俊太郎	1885	荘内中学校	山形	1902	—	無試験	無	○
11	多嘉良憲	1880	沖縄県立中学校	沖縄	1902	—	無試験	無	○
12	石川保治	1883	愛知県立第二中学校	愛知	1902	—	無試験	無	○
13	松岡与太郎	1882	順天中学校	東京	1902	—	無試験	無	○
14	北野泰一	1883	大阪府第六中学校	大阪	1902	—	無試験	無	○
15	市川清水	1882	中学海南学校	高知	1900	—	無試験	無	○
16	牧田寛一	1880	蕨山中学校	静岡	1902	—	無試験	無	○
17	熊野御堂済	1882	中津中学校	大分	1901	—	無試験	無	○
18	網野一寿	1880	浦和中学校	埼玉	1900	正則英語学校 (1901.1-5)、開成中学校内講習会 (1901.1-5)、正則英語学校高等科 (1901.10-1902.5)	浦和	合	○
19	小山田純	1882	明治義会中学校	東京	1900	明治義会中学校補習科 (1900.4-1901.3)	東京	合	○
20	小野尚民	1879	明治義会中学校	東京	1900	正則英語学校 (1900.4-1902.3)、弘前中学東奥義塾 (1902.4-、英語教員)	弘前	合	
21	谷岡吉次郎	1882	洲本中学校	兵庫	1902	—	洲本	合	○
22	笠島貞治	1881	札幌中学校	北海道	1902	—	札幌	合	○
23	田中享蔵	1879	青森県第一尋常中学校	青森	1900	—	弘前	合	○
24	大平精一	1881	会津中学校	福島	1901	会津中学校補習科 (1901.4-7)	会津	合	○
25	伊藤章	1881	島根県第一尋常中学校	島根	1901	—	島根	合	○
26	加藤直三郎	1884	愛知県立第一中学校	愛知	1902	正則英語学校 (1902.4-)	東京	合	
27	鈴木伊重郎	1881	明治義会中学校	東京	1901	明治義会中学校補習科 (1901.4-6)	東京	合	○
28	米倉茂	1881	大成中学校	東京	1901	大成中学校補習科 (1901.4-1902.3)	札幌	合	○
29	澁谷紀三郎	1883	東京府立第四中学校	東京	1902	—	東京	合	○
30	竹崎嘉徳	1882	麻布中学校	東京	1901	—	東京	合	

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験場所	結果	在籍
			学校名	道府県	卒業年				
31	梶正雄	1882	錦城中学校	東京	1901	東京専門学校文学部史学科（1901.6-1902.4）、青山学院高等科（1902.4-）	東京	合	○
32	浜島彦十	1881	松本中学校	長野	1902	—	東京	合	○
33	副島昌	1885	鹿島中学校	佐賀	1901	—	鹿島	合	○
34	大東興之助	1884	正則中学校	東京	1901	—	札幌	合	○
35	木村荘輔	1884	千葉中学校	千葉	1902	—	千葉	合	○
36	服部辰雄	1880	水戸中学校	茨城	1900	—	東京	合	○
37	河原美治	1882	麻布中学校	東京	1902	—	東京	合	
38	割田平馬	1882	前橋中学校	群馬	1902	—	前橋	合	○
39	橋本太郎	1883	滋賀県立第一中学校	滋賀	1901	—	滋賀第一	合	
40	安孫子孝次	1882	札幌中学校	北海道	1902	札幌中学校補習科（1902-）	札幌	合	○
41	半沢虎太郎	1882	商工中学校	東京	1901	京華中学校補習科（1901.9-1902.3）、奥平研数学館（1902.3-6）	東京	合	○
42	鳥海二郎	1882	京都府第一中学校	京都	1901	—	京都	合	○
43	鈴木勇一	1884	会津中学校	福島	1902	—	会津	合	○
44	川田小三郎	1883	高松中学校	香川	1902	—	高松	合	○
45	笠井幹夫	1882	岡山中学校	岡山	1902	—	岡山	合	○
46	伊藤誠哉	1883	新潟中学校	新潟	1901	—	新潟	合	○
47	高橋次郎	1882	忠海中学校	広島	1902	—	札幌	合	○
48	境野恵佐	1884	埼玉県第二中学校	埼玉	1901	埼玉県第二中学校補習科（1901.4-8）	熊谷		
49	新名蓋	1881	東京中学校	東京	1901	国民英学会（1901.4-1902.4）	東京		
50	加治孝太郎	1882	札幌中学校	北海道	1902	札幌中学校補習科（1902-）	札幌		
51	賀来団二	1880	関西中学校	岡山	1901	官立学校予備校（1901.9-11）、国民英学会（1901.12-）	東京		
52	丹野忠三郎	1883	順天中学校	東京	1901	—			
53	米山福造	1882	正則中学校	東京	1901	正則中学校補習科（1901-）	東京		
54	加賀山程吉	1882	高梁中学校	岡山	1901	—	東京		
55	渡辺好平	1882	太田中学校	群馬	1902	—	東京		
56	内野昂二	1882	日本中学校	東京	1902	—	東京		
57	田中新太郎	1883	茨木中学校	大阪	1902	—			
58	東田勘治	1882	茨木中学校	大阪	1902	—			

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験場所	結果	在籍
			学校名	道府県	卒業年				
59	富岡良三	1883	明治義会中学校	東京	1901	—	東京		
60	小島友吉	1881	富岡中学校	群馬	1902	—	富岡		
61	五十嵐弘平	1880	長岡中学校	新潟	1900	—	長岡		
62	森田顕治	1882	八尾中学校	大阪	1902	—	八尾		
63	山上欽三	1884	東京高等師範学校附属中学校	東京	1902	—	東京		
64	斉藤忠三郎	1883	荘内中学校	山形	1902	—	荘内		
65	川上利一郎	1882	佐賀県第三中学校	佐賀	1901	—	東京		
66	竹内和徳	1883	青森県第一尋常中学校	青森	1902	—	弘前		
67	佐々木恒太郎	1882	青森県第一尋常中学校	青森	1902	—	弘前		
68	橘確三	1881	明治学院	東京	1902	明治学院高等学部 (1902.4-)	東京		
69	石井公平	1881	荘内中学校	山形	1902	—	荘内		
70	鈴木了	1881	開成中学校	東京	1902	—	札幌		
71	木田芳三郎	1885	堂島中学校	大阪	1902	—	北野		
72	前田顕三	1881	青森県第一中学校	青森	1901	—	東京		
73	梶原治寿	1881	中津中学校	大分	1901	正則英語学校 (1901.9-)	東京		
74	北村謹	1882	城北中学校	東京	1901	正則英語学校 (1901.9-)	東京		
75	千葉兼吉	1878	神田中学校	東京	1900	—	札幌		
76	三浦俊彦	1884	鳥取県立第一中学校	鳥取	1901	正則英語学校 (1901.9-)	東京		
77	横山平左衛門	1881	高梁中学校	岡山	1901	錦城中学校補修科 (1901.9-1902.3)	東京		
78	新井則正	1885	熊谷中学校	埼玉	1902	熊谷中学校補習科 (1902.4-)	熊谷		
79	山中新	1883	中学済々黌	熊本	1901	中学済々黌補習科 (1901.10-12)	熊本		
80	河瀬六郎	1879	中学済々黌	熊本	1902	—	熊本		
81	田上弥一	1882	中学済々黌	熊本	1902	中学済々黌補習科 (1902-)	熊本		
82	細川隆春	1878	中学済々黌	熊本	1901	中学済々黌補習科 (1901.4-)	熊本		
83	松尾久男	1882	中学済々黌	熊本	1902	中学済々黌補習科 (1902.4-)	熊本		
84	野口十郎	1884	中学済々黌	熊本	1902	中学済々黌補習科 (1902.4-)	熊本		
85	稲垣忠義	1880	愛知県第二中学校	愛知	1901	—	愛知二		
86	富士省三	1884	宮城県第三中学校	宮城	1902	—	宮城三		
87	早川重倫	1883	函館中学校	北海道	1902	—	札幌		

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験場所	結果	在籍
			学校名	道府県	卒業年				
88	永沢健一郎	1882	東京中学校	東京	1901	東京中学校補習科 (1901.1-)	東京		
89	馬場倅躬	1885	松本中学校	長野	1902	—	東京		
90	為田文造	1883	正則中学校	東京	1902	—	東京		
91	青井昇三	1881	中学猶興館	長崎	1902	—	長崎		
92	松浦森	1879	中学猶興館	長崎	1902	—	長崎		
93	永根義雄	—	札幌中学校	北海道	1901	—	札幌		
94	江原邦彦	1882	佐賀中学校	佐賀	1902	—	佐賀		
95	大川亮	1881	青森県中学校	青森	1901	—	八戸		
96	佐藤次郎	1882	山形中学校	山形	1902	山形中学校補習科 (1902-)	山形		
97	宮内喜忠	1883	福島県第二中学校	福島	1901	—	磐城		
98	小林多門	1882	上田中学校	長野	1902	—			
99	湯川定之助	1883	東京中学校	東京	1901	—			
100	溝口義夫	1881	岡山中学校	岡山	1902	—	岡山		
101	下条幸雄	1883	宮城県第一中学校	宮城	1902	—			
102	佐藤耕三	1883	宮城県第一中学校	宮城	1902	—	仙台		
103	小泉源一	1883	米沢中学校	山形	1901	—	東京		
104	有塚武三郎	1883	高松中学校	香川	1902	—	高松		
105	橋本憲文	1883	徳島中学校	徳島	1901	—	徳島		
106	中村午次郎	1882	水戸中学校	茨城	1902	—	水戸		
107	後藤省吾	1881	盛岡中学校	岩手	1901	開成中学校補習科 (1901.5-1902.3)、 正則英語学校 (1902.3-6)	東京		
108	難波六四郎	1883	新発田中学校	新潟	1902	—	新発田		
109	大沢栄太郎	1884	新発田中学校	新潟	1902	—	新発田		
110	若桑京吾	1884	新発田中学校	新潟	1902	—	新発田		
111	松川重六郎	1883	新発田中学校	新潟	1902	—	新発田		
112	高橋芳治	1882	新潟中学校	新潟	1902	—	新潟		
113	弓削吉太郎	1881	神田中学校	東京	1900	牛田豊三郎・須藤 に師事（1901.3- 不明）、正則英語 学校乙種受験科 (1901.9-1902.2)、 慶應義塾（1902.5 -）	東京		
114	長沼正義	1882	会津中学校	福島	1902	会津中学校補習科 (1902-)	会津		
115	石井豊男	1883	鳥取県立第一中学校	鳥取	1902	—			
116	上条梅之助	1881	静岡中学校	静岡	1901	—	東京		
117	宮原朝吉	1881	萩中学校	山口	1901	萩中学校補習科 (1901.4-6)	東京		
118	橘儀一	1884	札幌中学校	北海道	1902	—	札幌		
119	矢野数馬	1877	中学済々黌	熊本	1901	—	東京		

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験場所	結果	在籍
			学校名	道府県	卒業年				
120	千葉逸郎	1881	宮城県第一中学校	宮城	1901	宮城県第一中学校補習科 (1901.4-7)、正則英語学校乙種受験科 (1901.11-)	東京		
121	手島策彦	1882	愛知県立第一中学校	愛知	1902	—	愛知		
122	名倉森蔵	1882	愛知県立第一中学校	愛知	1902	—	愛知		
123	前田平吉	1884	東濃中学校	岐阜	1902	—	愛知		
124	岡信吉	1880	錦城中学校	東京	1900	—	東京		
125	茂庭賜	1880	宮城県第一中学校	宮城	1901	宮城県第一中学校補習科 (1901.5-1902.3)、正則英語学校 (1902.4-)	東京		
126	力石知義	1881	滋賀県第一中学校	滋賀	1901	—	滋賀一		
127	岩永志久蔵	1880	明治学院	東京	1902	明治学院高等科 (1902-)	東京		
128	酒井碩治	1884	松本中学校	長野	1902	—	松本		
129	鈴木直助	1878	神田中学校	東京	1901	国民英学会 (1900.6-)	東京		
130	笹川栄一	1883	京北中学校	東京	1901	—	東京		
131	山口宗兵衛	1881	鹿児島中学校	鹿児島	1902	鹿児島中学校補習科 (1902.4-5)	東京		
132	斯波清太郎	1882	正則中学校	東京	1901	—	東京		
133	佐野文治	1880	新潟中学校	新潟	1901	—			
134	大神熊次郎	1881	中学修繕館	福岡	1902	—	福岡		
135	金子彦太郎	1883	静岡中学校	静岡	1902	—	東京		
136	庄司松次郎	1881	水戸中学校	茨城	1901	—	東京		
137	岸村嘉樹	1882	麻布中学校	東京	1901	麻布中学校補習科 (1901.4-)			
138	大関義次郎	1882	米沢中学校	山形	1902	—	札幌		
139	矢島平次	1882	浦和中学校	埼玉	1902	—	札幌		
140	関莊一郎	1883	会津中学校	福島	1902	—	東京		
141	石付秀一	1882	正則中学校	東京	1900	国民英語学会 (1901.4-)	東京		
142	見田宗二	1882	京北中学校	東京	1902	—	東京		
143	山中謙輔	1882	東京中学校	東京	1902	国民英学会 (1902.4-)			
144	田中彦三	1880	鳥取県第一中学校	鳥取	1901	—	東京		
145	宮下道一	1884	札幌中学校	北海道	1902	札幌中学校補習科 (1902.4-)	札幌		
146	松井甫芳	1882	富山中学校	富山	1901	—	東京		
147	八木沢久太郎	1882	神田中学校	東京	1902	—	東京		
148	大宮欽次	1882	神田中学校	東京	1902	—	東京		
149	塚本金治	1883	埼玉県第一中学校	埼玉	1901	—	東京		
150	鶴田雅顕	1881	神田中学校	東京	1902	—	東京		

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験場所	結果	在籍
			学校名	道府県	卒業年				
151	金原信二	1885	早稲田中学校	東京	1902	—			
152	華蔵界済哲	1884	早稲田中学校	東京	1902	—	東京		
153	新納政明	1881	鹿児島中学校	鹿児島	1901	—	東京		
154	鈴木寅太郎	1878	明治義会尋常中学校	東京	1899	東京専数義塾 (1899.9-1901.3)、 国民英学会 (1899.9-1901.5)	東京		
155	織田陽三	1882	神戸中学校	兵庫	1901	—			
156	古閑亀喜	1878	中学済々饗	熊本	1900	中学済々饗補習科 (1900.4-不明)、 東京専門学校高等 予科 (1902.4-)	東京		
157	稲田米吉	1880	錦城中学校	東京	1900	—	東京		
158	弘田善道	1884	順天中学校	東京	1902	—	高知		
159	沢田龍吉	1879	正則中学校	東京	1900	—	東京		
160	間宮恒	1881	麻布中学校	東京	1900	麻布中学校補習科 (1900.9-1901.3)、 開成中学校補習科 (1901.9-1902.3)	東京		
161	神田吉穂	1881	青森県第二中学校	青森	1901	—			
162	指田栄	1882	下野中学校	栃木	1902	—			
163	伊達安朋	1880	麻布中学校	東京	1902	—	東京		
164	今野琢美	1884	神田中学校	東京	1902	—	東京		
165	本間士	1885	札幌中学校	北海道	1902	—	札幌		
166	武田益夫	1880	第二高等学校二部	宮城	1 年級 在学	—	東京		
167	中村豊司	1881	青森県第二中学校	青森	1900	—	東京		
168	三浦安蔵	1882	荘内中学校	山形	1901	—			
169	村上恵之助	1881	荘内中学校	山形	1901	—	東京		
170	内田鎌司	1880	城北中学校	東京	1900	英語専修学校 (1901.1-9)、数理 学館 (1901.1-9)、 官立学校予備校 (1901.9-1902.4)、 青山学院 (1902.4-)			
171	川崎修四郎	1879	順天中学校	東京	1900	東京英語専修学校 (1900.4-6)、順 天求合社 (1900.4 -6)、東京学院 (1900.10-1901.4)	東京		
172	宮本庄之助	1881	水戸中学校	茨城	1901	—			
173	秋山憲平	1882	神田中学校	東京	1902	—	東京		
174	玉木良	1881	山梨県第一中学校	山梨	1902	—			
175	長谷川良平	1882	愛媛県立第一中学校	愛媛	1902	—			
176	渡瀬雅太郎	1884	麻布中学校	東京	1902	—	東京		
177	森田恭治	1882	栃木中学校	栃木	1901	—	東京		

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験場所	結果	在籍
			学校名	道府県	卒業年				
178	登坂新三郎	1880	明治義会中学校	東京	1900	明治義会中学校補習科 (1900.4-1901.3)	東京		
179	村山鼎蔵	1883	鹿島中学校	佐賀	1902	正則英語学校 (1902.5-)	東京		
180	小出鉦三郎	1881	日比谷中学校	東京	1900	—			
181	富田逸造	1881	愛知県第一中学校	愛知	1901	—	東京		
182	戸沢正夫	1882	山形中学校	山形	1901	—	東京		
183	中村当馬	1882	豊津中学校	福岡	1902	—			
184	井上芳雄	1883	高松中学校	香川	1902	—			
185	海野幾之介	1882	水戸中学校	茨城	1902	—			
186	牛渡日出太郎		滋賀第一中学校	滋賀	1902		札幌		
187	日向秀雄		札幌中学校	北海道	1902		札幌		

備考1)「氏名」「生年」「学校名」「卒業年」「中学校卒業後の履歴」は、No1～No47は札幌農学校簿書773-4「予修科入学志願書 許可ノ分 明治三十五年九月 教務部」に、No48～No185は札幌農学校簿書773-6「〔予修科入学願書〕(一袋)」による。そして、No186・187を札幌農学校簿書773-5「入学試験ニ関スル書類 (一袋) 明治三十五年」所収「予修科入学試験成績」によって補った。

2)「受験場所」は、札幌農学校簿書773-5「入学試験ニ関スル書類 (一袋) 明治三十五年」所収「予修科入学試験成績」による。

3)「結果」は、札幌農学校簿書978「生徒募集ニ関スル書類 明治三十五年ヨリ」所収「選抜試験合格者許可ノ件」(1902年7月25日)により、「無試験入学許可」を「無」、「合格者」を「合」と表す。

4)「在籍」は、入学者の目安として、『札幌農学校一覧 自明治三十五年至明治三十六年』(1902年12月)の「学生生徒姓名」への記載の有無を示し、「○」は第1年級在籍を表す。

付表6 1903年度予修科入学志願者

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験場所	在籍
			学校名	道府県	卒業年			
1	田中義麿	1884	松本中学校	長野	1901	近衛歩兵 (1901.12-1902.11)	無	○
2	神弥十郎	1883	弘前中学東奥義塾	青森	1903	—	無	○
3	辻中寿治	1884	鳥取県立第一中学校	鳥取	1902	正則英語学校 (1902.8-12)	無	○
4	里正義	1882	三重県立第一中学校	三重	1902	大成館中学補習科(1902.4-1903.3)、正則予備学校夜学物理化学三ヶ月専門科 (1902.10-12)	無	○
5	吉田清	1885	荘内中学校	山形	1903	—	無	○
6	高橋喬	1884	開成中学校	東京	1903	—	東京	○
7	川又忠純	1884	札幌中学校	北海道	1903	札幌中学校補習科 (1903.4-6)	札幌	○
8	河毛肇	1883	京都府立第一中学校	京都	1902	—	東京	
9	向井武	1883	札幌中学校	北海道	1903	—	札幌	○
10	牧長美	1882	中学済々黌	熊本	1903	—	熊本	○
11	小山達郎	1886	札幌中学校	北海道	1903	—	札幌	○
12	日向秀雄	1884	札幌中学校	北海道	1902	—	札幌	○

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験場所	在籍
			学校名	道府県	卒業年			
13	柳川秀興	1884	丸亀中学校	香川	1902	—	香川	○
14	根岸元吉	1884	開成中学校	東京	1902	—	千葉	○
15	横谷道次郎	1884	札幌中学校	北海道	1903	—	札幌	○
16	徳田義信	1885	鳥取県立第一中学校	鳥取	1903	—	鳥取	○
17	竹前慶治郎	1884	新潟中学校	新潟	1901	—	東京	○
18	藤井莊三郎	1885	岡山中学校	岡山	1903	—	岡山	○
19	長井清	1884	加治木中学校	鹿児島	1902	—	東京	
20	森岡光信	1884	松山中学校	愛媛	1903	—	愛媛	○
21	橘儀一	1884	札幌中学校	北海道	1902	—	東京	○
22	鈴木限三	1884	明治学院	東京	1903	—	東京	○
23	林基一	1885	立教中学校	東京	1903	—	東京	○
24	大久保敬	1885	土浦中学校	茨城	1903	—	東京	○
25	松枝邦太	1883	高梁中学校	岡山	1903	—	岡山	○
26	斉藤蔵之助	1883	秋田中学校	秋田	1903	秋田中学校補習科 (1903.4-)	秋田	○
27	大沢栄太郎	1884	新発田中学校	新潟	1902	葛塚高等小学校 (1902.9-1903.3、教員)	新潟	○
28	鳥居真一郎	1884	愛知県立第二中学校	愛知	1903	愛知県立第二中学校補習科 (1903.4-)	愛知	○
29	財満秀雄	1884	中学沓々贅	熊本	1903	—	熊本	
30	北村謹	1882	城北中学校	東京	1901	正則英語学校受験科 (1901.9-1902.7、1902.9-)	東京	○
31	園部万吉	1882	正則中学校	東京	1903	—	東京	○
32	木下保助	1882	東北中学校	宮城	1903	—	札幌	○
33	北川島太郎	1883	北野中学校	大阪	1902	—	大阪	○
34	名倉森蔵	1882	愛知県立第一中学校	愛知	1902	正則英語学校 (1902.9-)、正則予備学校 (1902.9-1903.3)	東京	○
35	樋口千代高	1885	札幌中学校	北海道	1903	—	札幌	○
36	朝倉金彦	1882	和歌山中学校	和歌山	1902	和歌山中学校補習科 (1902.4-)	和歌山	○
37	渡辺弥三太郎	1883	札幌中学校	北海道	1903	札幌中学校補習科 (1903.4-)	札幌	○
38	赤崎平八郎	1882	加治木中学校	鹿児島	1902	—	東京	○
39	上野亮太	1884	和歌山中学校	和歌山	1903	—	札幌	○
40	小林正視	1884	長野中学校	長野	1903	—	東京	○
41	牛渡日出太郎	1884	滋賀県立第一中学校	滋賀	1902	—	札幌	○
42	小倉俊良	1886	石川県立第一中学校	石川	1903	—	石川	○
43	仲宗三郎	1883	中学明善校	福岡	1903	—	福岡	○
44	佐々木保次郎	1882	日比谷中学校	東京	1900	—	東京	
45	蜂谷昌常	1885	郡山中学校	奈良	1903	—	奈良	
46	小川巽	1881	丸亀中学校	香川	1903	—	東京	

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験場所	在籍
			学校名	道府県	卒業年			
47	内藤忠翼	1882	秋田中学校	秋田	1903		秋田	
48	高橋常蔵	1884	福島中学校	福島	1903		東京	
49	仲吉蒲	1881	沖縄中学校	沖縄	1903		東京	
50	板倉長重郎	1884	愛知第四中学校	愛知	1903		東京	
51	三浦華	1885	秋田中学校	秋田	1903		秋田	
52	橘確三	1881	明治学院	東京	1902		東京	
53	秋山衡	1885	宮城第三中学校	宮城	1903		宮城	
54	小島友吉	1881	富岡中学校	群馬	1902		東京	
55	高松甚六	1880	豊津中学校	福岡	1902		東京	
56	中田公直	1885	秋田中学校	秋田	1903		東京	
57	和田芦造	1883	中津中学校	大分	1903		大分	
58	横山平左衛門	1881	高梁中学校	岡山	1901		東京	
59	古宅真佐久	1884	福井中学校	福井	1903		東京	
60	北村恒三郎	1881	高松中学校	香川	1902		東京	
61	目黒宗英	1878	宮城中学校	宮城	1898	第二高等学校(不明-1902)	東京	
62	吉田新七郎	1884	滋賀第一中学校	滋賀	1903		滋賀	
63	松林理三郎	1884	石川第一中学校	石川	1903		石川	
64	清水政雄	1883	大成中学校	東京	1902		東京	
65	城主義一	1885	山形中学校	山形	1903		札幌	
66	松尾一馬	1883	成城学校	東京	1903		東京	
67	猿渡蘇三	1881	安積中学校	福島	1903		福島	
68	田中一男	1884	京都第二中学校	京都	1903		京都	
69	築瀬保一	1881	前橋中学校	群馬	1903		群馬	
70	尾谷源治郎	1882	八尾中学校	大阪	1902		大阪	
71	新井則正	1885	熊谷中学校	埼玉	1902		東京	
72	森正一	1884	西条中学校	愛媛	1903		東京	
73	酒井碩治	1884	松本中学校	長野	1903		東京	
74	矢部邦輔	1884	浜松中学校	静岡	1902		東京	
75	沼沢儀	1882	東京中学校	東京	1902		東京	
76	八木寿治	1885	鳥取第一中学校	鳥取	1903		東京	
77	石井央雄	1884	神田中学校	東京	1903		東京	
78	野田和正	1883	和歌山中学校	和歌山	1903		和歌山	
79	岡本太郎	1879	宮城第一中学校	宮城	1901		東京	
80	三浦房次郎	1883	八尾中学校	大阪	1902		大阪	
81	小山潤吉	1881	中学済々黌	熊本	1903		熊本	
82	野口十郎	1884	中学済々黌	熊本	1902		熊本	
83	栗屋二郎	1882	明道中学校	広島	1903		東京	
84	牧村義雄	1883	攻玉社中学校	東京	1903		東京	
85	鳥飼清光	1883	高松中学校	香川	1903		香川	
86	田中重太郎	1884	中学明善校	福岡	1902		東京	
87	難波六四郎	1883	新発田中学校	新潟	1902		東京	

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験場所	在籍
			学校名	道府県	卒業年			
88	郡司修	1881	開成中学校	東京	1900		東京	
89	長野晴次	1884	東京中学校	東京	1903		東京	
90	小田義質	1884	鳥取第一中学校	鳥取	1903		鳥取	
91	角岡知良	1884	北野中学校	大阪	1903		大阪	
92	田原益茂	1884	東濃中学校	岐阜	1902		岐阜	
93	斉藤弥作	1884	下野中学校	栃木	1902		東京	
94	荒川胖	1883	独乙協会学校	東京	1901		東京	
95	板垣無前	1882	東奥義塾	青森	1899		青森	
96	手島精一	1882	中学済々黌	熊本	1901		東京	
97	米野弥太郎	1882	米沢中学校	山形	1903		山形	
98	品川謙太郎	1885	前橋中学校	群馬	1903		東京	
99	横井虎次郎	1883	神田中学校	東京	1902		東京	
100	伊勢田隆	1884	札幌中学校	北海道	1903		札幌	
101	三橋修	1881	順天中学校	東京	1902		東京	
102	宮沢文吾	1884	飯田中学校	長野	1902		東京	
103	林親厚	1884	神田中学校	東京	1903		東京	
104	斉藤栄次郎	1884	東奥義塾	青森	1902		東京	
105	堀内亀三	1881	熊本中学校	熊本	1903		熊本	
106	小沢東三郎	1883	盛岡中学校	岩手	1903		宮城	
107	伊達安明	1880	麻布中学校	東京	1902		東京	
108	森口隼太郎	1885	京都第二中学校	京都	1903		京都	
109	斉藤徳三郎	1880	下野中学校	栃木	1903		東京	
110	二宮兼雄	1885	松山中学校	愛媛	1903		愛媛	
111	岸上伊三吉	1883	郡山中学校	奈良	1902		京都	
112	片岡豊	1883	鳥取第一中学校	鳥取	1903		東京	
113	中山孝太郎	1882	日本中学校	東京	1903		東京	
114	伊東五八郎	1883	京北中学校	東京	1903		東京	
115	近藤貢	1883	蕪山中学校	静岡	1901		東京	
116	木村新太郎	1880	丸亀中学校	香川	1901		香川	
117	楠清	1882	錦城中学校	東京	1903		東京	
118	百武千文	1884	唐津中学校	佐賀	1902		東京	
119	目黒三次	1884	会津中学校	福島	1903		福島	
120	本間勇	1885	早稲田中学	東京	1903		東京	
121	丹羽栄吉	1883	天王寺中学校	大阪	1903		大阪	
122	藤田政二郎	1884	北野中学校	大阪	1903		大阪	
123	大木善次郎	1885	川越中学校	埼玉	1903		東京	
124	小出鉾三郎	1881	日比谷中学校	東京	1900		東京	
125	西吉原豊蔵	1883	加治木中学校	鹿児島	1903		東京	
126	竹田英一	1883	成城中学校	東京	1901		東京	
127	門馬留助	1881	東北学院	宮城	1903		宮城	
128	京野順八郎	1879	同志社	京都	1903		京都	

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験場所	在籍
			学校名	道府県	卒業年			
129	中瀬知孝	1882	田辺中学校	和歌山	1902		札幌	
130	木村美瑛雄	1882	安積中学校	福島	1902		東京	
131	高橋清輔	1883	神田中学校	東京	1902		東京	
132	石田文治	—	錦城中学校	東京	1903		—	

備考 1) 「氏名」「生年」「学校名」「卒業年」は、No 1～No43は農学校簿書796-6「予習科入学志願書 明治三十六年七月 教務部」による。そして、No44～No133を札幌農学校簿書1014「入学志願者名簿 明治三十六年四月 教務部」によって補った。札幌農学校簿書1014の見出し付箋には「土木工学科」とあるが、予修科の名簿と思われる。
 2) 「受験場所」は、札幌農学校簿書1014による。
 3) 「在籍」は、入学者の目安として、『札幌農学校一覧 自明治三十六年至明治三十七年』（1904年 3月）の「学生生徒姓名」への記載の有無を示し、「○」は第1年級在籍を表す。

付表 7 1904年度予修科入学志願者

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験場所	在籍
			学校名	道府県	卒業年			
1	山田俊雄	1884	高松中学校	香川	1904		香川	
2	加藤木保次	1886	磐城中学校	福島	1902		無試験	○
3	門野忠覚	1881	武生中学校	福井	1901		東京	
4	松尾悌治郎	1886	新潟中学校	新潟	1904		東京	○
5	樋口敏郎	1885	札幌中学校	北海道	1904		札幌	○
6	遠藤吉五郎	1884	中学郁文館	東京	1902		東京	
7	辻音次郎	1886	郡山中学校	奈良	1904		奈良	
8	竹田義治	1885	東京第一中学校	東京	1904		東京	
9	平野善嗣	1885	東京第一中学校	東京	1904		東京	○
10	加藤勇三郎	1885	山形中学校	山形	1904		山形	
11	田瀬寿雄	1884	荘内中学校	山形	1904		札幌	
12	三原友良	1883	丸亀中学校	香川	1903		香川	
13	中島九郎	1886	札幌中学校	北海道	1904		無試験	○
14	平野千里	1886	滋賀第一中学校	滋賀	1904		京都	
15	斉藤亀之介	1884	大成中学校	東京	1903		東京	
16	末光信三	1885	松山中学校	愛媛	1904		愛媛	○
17	森田健治郎	1884	豊津中学校	福岡	1903		福岡	○
18	古賀雅喬	1883	天王寺中学校	大阪	1903		大阪	
19	中村弥五造	1885	札幌中学校	北海道	1904		札幌	○
20	佐藤永次	1885	荘内中学校	山形	1904		山形	
21	中島信雄	1885	開成中学校	東京	1904		東京	
22	白井七郎	1886	大成中学校	東京	1904		東京	○
23	双木康	1886	浦和中学校	埼玉	1904		埼玉	○
24	杉浦斉	1885	静岡中学校	静岡	1903		東京	
25	小山潤吉	1881	中学済々黌	熊本	1903		東京	
26	村上知之次	1886	天王寺中学校	大阪	1904		大阪	
27	米田信一	1886	安中中学校	群馬	1904		群馬	

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験場所	在籍
			学校名	道府県	卒業年			
28	田所哲太郎	1885	秋田中学校	秋田	1904		札幌	○
29	福迫忠亮	1885	相馬中学校	福島	1904		東京	
30	松林理三郎	1884	石川第一中学校	石川	1903		石川	
31	島田斯文	1885	札幌中学校	北海道	1904		札幌	○
32	大場六三	1884	大成中学校	東京	1904		東京	
33	土橋政美	1881	東京第一中学校	東京	1899		東京	
34	遠藤一男	1885	米沢中学校	山形	1904		山形	○
35	鶴田嘉重郎	1884	熊本中学校	熊本	1904		東京	
36	佐藤憲三郎	1886	東京第三中学校	東京	1904		東京	
37	谷田部憲三	1882	秋田中学校	秋田	1902		宮城	
38	古川留三郎	1885	札幌中学校	北海道	1904		無試験	○
39	阿部昂三	1884	京都第一中学校	京都	4年級 在学		無資格	
40	日下豊治	1885	新庄中学校	山形	1904		東京	
41	阿部円三郎	1884	荘内中学校	山形	1904		山形	
42	土井昌逸	1886	日彰館中学校	広島	1904		広島	○
43	石橋決	1883	第五高等学校第二部	熊本	退学		東京	
44	小島一生	1886	早稲田中学校	東京	1904		東京	
45	原田勝一	1882	錦城中学校	東京	1900		佐賀	
46	大沢兼治	1885	佐倉中学校	千葉	1903		千葉	
47	酒井鋭	1884	静岡中学校	静岡	1904		静岡	
48	藺田新太郎	1884	加治木中学校	鹿児島	1904		東京	
49	加藤金五	1885	荘内中学校	山形	1904		山形	
50	高木直一	1886	札幌中学校	北海道	1904		札幌	○
51	橘礼次	1886	札幌中学校	北海道	1903		札幌	○
52	田辺操	1886	三次中学校	広島	1903		東京	○
53	成瀬鳳吉	1885	中学伝習館	福岡	1904		福岡	
54	下条治恒	1882	開成中学校	東京	1902		東京	
55	仲尾政太郎	1885	岸和田中学校	大阪	1903		無試験	○
56	手島精一	1882	中学済々饗	熊本	1901		東京	
57	押見仁	1884	開成中学校	東京	1902		東京	○
58	久保普作	1881	東京中学校	東京	1902		東京	
59	合屋環	1884	嘉穂中学校	福岡	1904		福岡	
60	水田千太郎	1885	鹿島中学校	佐賀	1903		東京	
61	瀬戸武	1885	宮城第一中学校	宮城	1902		東京	
62	手野修蔵	1885	京都第一中学校	京都	1904		東京	
63	玉井伝一郎	1886	三重第二中学校	三重	1904		三重	
64	佐藤喜五郎	1884	東北中学校	宮城	1904		宮城	
65	杉山友輔	1886	札幌中学校	北海道	1904		札幌	
66	山内甚太郎	1886	三重第二中学校	三重	1904		三重	
67	広岡助次郎	1884	早稲田中学校	東京	1904		東京	

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験場所	在籍
			学校名	道府県	卒業年			
68	林雅藏	1886	八尾中学校	大阪	1904		大阪	
69	若松茂太郎	1886	荘内中学校	山形	1904		山形	
70	石河利三	1883	鳥取第一中学校	鳥取	1903		東京	○
71	岩崎文七	1883	宮城第二中学校	宮城	1904		宮城	
72	福井正気	1884	札幌中学校	北海道	1904		札幌	
73	井上金弥	1885	札幌中学校	北海道	1903		札幌	○
74	池上三次	1885	富山中学校	富山	1903		富山	○
75	内山清保	1885	前橋中学校	群馬	1903		東京	
76	角田懺	1886	東京第三中学校	東京	1904		東京	
77	関沢廉	1885	早稲田中学校	東京	1904		東京	
78	石田源六	1884	小城中学校	佐賀	1904		佐賀	
79	今村和男	1883	郡山中学校	奈良	1903		東京	
80	三浦華	1885	秋田中学校	秋田	1903		秋田	
81	竹内寛次	1881	青山学院	東京	1904		東京	
82	土生伸太	1883	宮城第一中学校	宮城	1903		東京	
83	竹村源兵衛	1885	高知第一中学校	高知	1903		高知	○
84	秋山衡	1885	古川中学校	宮城	1903		宮城	
85	平賀亨一	1886	山形中学校	山形	1904		東京	
86	佐藤濯	1883	一関中学校	岩手	1903		東京	○
87	山田拍探	1885	一関中学校	岩手	1903		東京	○
88	山中三郎	1886	下妻中学校	茨城	1904		東京	
89	横山平左衛門	1881	高浜中学校	岡山	1901		東京	
90	小池新太郎	1885	愛知第一中学校	愛知	1904		愛知	
91	向井忠	1885	豊津中学校	福岡	1904		福岡	
92	植田割一	1885	島根第三中学校	島根	1904		島根	
93	木村鈴四郎	1886	長野中学校	長野	1903		長野	
94	田中元治郎	1886	商工中学校	東京	1904		東京	○
95	細川徳三	1883	成城中学校	東京	1904		東京	
96	山内俊彦	1884	加治木中学校	鹿児島	1904		東京	
97	本島市助	1881	神田中学校	東京	1903		東京	
98	白石時章	1885	宮城第二中学校	宮城	1903		宮城	
99	大畑清吉	1883	札幌中学校	北海道	1904		札幌	
100	今里孝朗	1884	丸亀中学校	香川	1903		東京	
101	岩岡末彦	1885	豊津中学校	福岡	1903		福岡	
102	森岡勇	1885	高知第一中学校	高知	1904		高知	○
103	石井央雄	1884	神田中学校	東京	1903		東京	
104	橋本味一	1884	京北中学校	東京	1904		東京	○
105	本広貢	1885	豊津中学校	福岡	1904		福岡	
106	野田実	1886	札幌中学校	北海道	1904		札幌	○
107	丹羽七郎	1885	会津中学校	福島	1903		札幌	○
108	桑原省吾	1885	東京第四中学校	東京	1904		東京	

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験場所	在籍
			学校名	道府県	卒業年			
109	松本一材	1884	高知第一中学校	高知	1902		大阪	
110	阿久津益三	1883	郁文館	東京	1901		東京	
111	中山孝太郎	1882	日本中学校	東京	1903		東京	
112	花野政太郎	1883	新潟中学校	新潟	1904		新潟	
113	近藤一二	1884	岡山中学校	岡山	1904		岡山	○
114	窪添重利	1887	高知第二中学校	高知	1904		高知	
115	井口賢三	1883	日比谷中学校	東京	1902		札幌	○
116	清水義雄	1886	高等師範附属中学校	東京	1904		東京	○
117	吉田正巳	1882	石川第一中学校	石川	1904		石川	
118	岡本純太郎	1883	石川第一中学校	石川	1904		石川	
119	石川八十八	1884	早稲田中学校	東京	1904		東京	○
120	金地嘉喜	1885	高知第一中学校	高知	1904		高知	
121	山形蕃	1883	宮城第一中学校	宮城	1903		宮城	
122	鈴木国太郎	1883	安積中学校	福島	1903		東京	○
123	青柳幹一	1883	東京中学校	東京	1904		東京	
124	脇亀太郎	1886	脇町中学校	徳島	1904		東京	
125	市岡正吉	1884	三重第一中学校	三重	1902		東京	
126	相馬福蔵	1883	秋田中学校	秋田	1903		秋田	
127	森正一	1884	西条中学校	愛媛	1903		東京	
128	岡本木夫	1883	和歌山中学校	和歌山	1903		東京	
129	香西慶一	1884	高松中学校	香川	1904		東京	
130	掛場定吉	1886	札幌中学校	北海道	1904		無試験 森林	
131	山内恭治	1883	会津中学校	福島	1902		東京	
132	和田義隆	1878	明道中学校	広島	1904		東京	
133	清水政雄	1883	大成中学校	東京	1902		東京	
134	梅沢咸一	1884	早稲田中学校	東京	1904		東京	
135	吉田新七郎	1884	滋賀第一中学校	滋賀	1903		京都	○
136	小林邦市	1884	島根第三中学校	島根	1903		東京	
137	土居通彦	1884	麻布中学校	東京	1904		東京	
138	三宅淳平	1884	岡山中学校	岡山	1903		岡山	
139	西村文次	1881	佐賀中学校	佐賀	1901		大阪	
140	安原主税	1885	米沢中学校	山形	1904		山形	
141	岡垣秀忠	1884	島根第三中学校	島根	1903		東京	○
142	百武千文	1884	唐津中学校	佐賀	1902		東京	○
143	平沢敏蔵	1883	飯田中学校	長野	1903		東京	
144	長谷川清	1885	函館中学校	北海道	1904		札幌	○
145	松原豪	1885	札幌中学校	北海道	1904		札幌	○
146	白勢成太郎	1883	東京第四中学校	東京	1904		東京	
147	岩根巖	1884	明治義会	東京	1902		東京	
148	佐々木保次郎	1882	日比谷中学校	東京	1900		宮城	

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験場所	在籍
			学校名	道府県	卒業年			
149	岡崎鹿衛	1887	高知第二中学校	高知	1904		高知	○
150	木村仁一	1885	小城中学校	佐賀	1904		佐賀	
151	樋口嘯一	1884	神田中学校	東京	1903		東京	
152	海野寿司	1884	山形中学校	山形	1904		山形	
153	石原応行	1882	明治義会	東京	1903		東京	
154	松尾洋太郎	1883	島根第二中学校	島根	1904		島根	
155	高田良作	1882	神田中学校	東京	1902		東京	
156	芥川錡	1884	西条中学校	愛媛	1903		愛媛	
157	竹村武夫	1883	松山中学校	愛媛	1902		東京	
158	榊原金継	1884	栃木中学校	栃木	1904		東京	
159	波磨笋三	1884	徳島中学校	徳島	1904		徳島	
160	野依次郎	1884	中津中学校	大分	1902	山口高等学校	山口	
161	末松次男	1884	中学玖島学館	長崎	1902		石川	
162	武田達夫	1882	山形中学校	山形	1904		山形	
163	本吉直三	1884	宮崎中学校	宮崎	1903		東京	
164	田中佐八	1883	鹿島中学校	佐賀	1903		東京	
165	田下政治	1886	札幌中学校	北海道	1904		無試験	○
166	萩原積治	1881	安中中学校	群馬	1903		東京	
167	石田貞三	1882	明治学院	東京	1904		東京	
168	三宅富治	1883	高梁中学校	岡山	1903		東京	
169	豊田富三郎	1883	茨木中学校	大阪	1903		大阪	
170	米山耕造	1885	日本中学校	東京	1904		東京	
171	洪江岩比古	1883	札幌中学校	北海道	1903		札幌	
172	木村忠雄	1884	青森第一中学校	青森	1904		青森	
173	中瀬知孝	1882	田辺中学校	和歌山	1902		札幌	
174	岸元	1885	島根第一中学校	島根	1904		島根	
175	広田治	1884	明治義会	東京	1903		東京	
176	寺岡信人	1883	中学済々黌	熊本	1903		熊本	
177	保々清音	1881	日比谷中学校	東京	1901		東京	
178	永野義勝	1885	八代中学校	熊本	1904		熊本	
179	前沢重雄	1883	飯田中学校	長野	1903		東京	
180	斉藤熊雄	1885	札幌中学校	北海道	1904		札幌	
181	藤本登	1883	京都第一中学校	京都	1904		東京	
182	小川辰雄	1880	順天中学校	東京	1900		東京	
183	池田益宣	1882	中学伝習館	福岡	1903		東京	
184	石井家吉	1884	三重第二中学校	三重	1904		三重	
185	五味誠吾	1884	山梨第一中学校	山梨	1903	札幌農学校土木工学科	札幌	○
186	末広耕三	1885	札幌中学校	北海道	1903		札幌	
187	寺本秋作	1883	東京第一中学校	東京	1902		東京	○
188	岡本勝衛	1884	日比谷中学校	東京	1904		東京	
189	小原善次郎	1885	郁文館	東京	1904		東京	

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験場所	在籍
			学校名	道府県	卒業年			
190	新谷泰造	1883	明治義会	東京	—		札幌	
191	湯地定信	1884	札幌中学校	北海道	1901	慶應義塾	東京	
192	周慶慈	1880	同文館	広東省	1903	—		○
193	周慶斌	1887	同文館	広東省	1904	弘文学院（1904.10-11）		○

備考 1) 「氏名」「生年」「学校名」「卒業年」「受験場所」は、No 1～No191は札幌農学校簿書1015「入学志願者名簿 明治三十七年五月 教務部」に、No192～No193は札幌農学校簿書823「外国留学生入学志願書 明治三十七年 教務部」による。No130の「無試験森林」は森林科への無試験入学を表す。

2) 「在籍」は、入学者の目安として、『札幌農学校一覽 自明治三十七年至明治三十八年』（1905年1月）の「学生生徒姓名」への記載の有無を示し、「○」は第1年級在籍を表す。

付表 8 1905年度予修科入学志願者

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験場所	結果	在籍
			学校名	道府県	卒業年				
1	中山富次郎	1887	開成中学校	東京	1904		茨城		
2	大圃縫之助	1886	下妻中学校	茨城	1905		茨城		
3	鷺谷瀧雄	1885	秋田中学校	秋田	1905		秋田		
4	穂積貞三	1886	高等師範附属中学校	東京	1904		東京	合	○
5	森誠	1885	札幌中学校	北海道	1905		札幌	合	○
6	白勢喜四郎	1885	新発田中学校	新潟	1905		新潟		
7	富沢総一	1883	川越中学校	埼玉	1903	明治大学	東京	合	○
8	辻音次郎	1886	郡山中学校	奈良	1904		京都	合	○
9	河野政登	1884	明道中学校	広島	1905		東京		
10	喜多一夫	1887	京北中学校	東京	1905		東京		
11	工藤郷輔	1884	青森第一中学校	青森	1905		東京		
12	納富喜雄	1885	東筑中学校	福岡	1905		—	無	○
13	伊藤静栄	1887	札幌中学校	北海道	1905		札幌	無	○
14	浦井喜市郎	1883	畝傍中学校	奈良	1905		奈良		
15	森沢博	1887	高知第一中学校	高知	1905		高知	合	○
16	原正夫	1885	札幌中学校	北海道	1905		札幌	合	○
17	磯永吉	1886	日彰館中学校	広島	1905		広島	合	○
18	三原友良	1883	丸亀中学校	香川	1903		東京	合	○
19	石田八蔵	1886	島根第三中学校	島根	1905		島根		
20	富樫金蔵	1886	荘内中学校	山形	1905		山形	合	○
21	佐藤佐一郎	1888	函館中学校	北海道	1905		札幌		
22	桑原省吾	1885	東京第四中学校	東京	1904		東京	合	○
23	中村正寿	1885	青山学院	東京	1905		東京	合	○
24	上野景吉	1884	東京中学校	東京	1905		東京		
25	椎名守三郎	1887	水海道中学校	茨城	1905		東京		
26	門馬譲輔	1884	札幌中学校	北海道	1905		札幌		
27	加藤茂雄	1887	正則中学校	東京	1905		東京		
28	根本胖弥	1886	龍ヶ崎中学校	茨城	1905		札幌		
29	南信一	1885	明道中学校	広島	1904		京都		

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験場所	結果	在籍
			学校名	道府県	卒業年				
30	平野龍起	1888	鹿本中学校	熊本	1905		熊本		
31	諏訪正種	1887	札幌中学校	北海道	1905		札幌		
32	菅野修一郎	1888	函館中学校	北海道	1905		札幌	合	○
33	鈴木一郎	1886	愛知第一中学校	愛知	1905		愛知		
34	西内貞道	1886	高知第一中学校	高知	1905		東京		
35	小林和平治	1885	中学閑谷黌	岡山	1905		岡山		
36	竹内照雄	1885	丸亀中学校	香川	1905		東京		
37	牧野忠二郎	1887	札幌中学校	北海道	1905		札幌	合	○
38	津田武雄	1885	萩中学校	山口	1904		東京	無	○
39	加藤信	1886	杵築中学校	大分	1905		大分		
40	美藤正茂	1884	三豊中学校	香川	1905		香川	合	
41	平賀亨一	1886	山形中学校	山形	1904		東京		
42	木村正	1886	日比谷中学校	東京	1905		東京		
43	藤倉慶三	1885	日比谷中学校	東京	1905		東京		
44	松本泰三	1887	日比谷中学校	東京	1905		東京		
45	木村晴	1887	札幌中学校	北海道	1905		札幌	無	○
46	三浦華	1885	秋田中学校	秋田	1903		秋田		
47	杉山友輔	1886	札幌中学校	北海道	1904		東京		
48	山崎一郎	1885	札幌中学校	北海道	1904		札幌		
49	大坪良巳	1885	佐賀中学校	佐賀	1905		佐賀		
50	有木基	1885	日彰館中学校	広島	1905		広島	合	○
51	末松鳳平	1886	東筑中学校	福岡	1905		福岡	合	○
52	市川郷鑑	1887	臼杵中学校	大分	1905		東京	合	○
53	仁木雷蔵	1884	新発田中学校	新潟	1905		新潟		
54	武田達夫	1882	山形中学校	山形	1904		東京		
55	上原徹三郎	1883	日彰館中学校	広島	1905		広島	合	○
56	延命伝次	1885	石川第三中学校	石川	1904		京都		
57	駒井徳三	1885	京都第二中学校	京都	1904		東京	合	○
58	曾木翁助	1883	京華中学校	東京	1903		東京		
59	森庫太郎	1887	京華中学校	東京	1905		東京		
60	佐治俊吾	1887	会津中学校	福島	1905		福島		
61	松元春彦	1883	加治木中学校	鹿児島	1904		東京	合	○
62	水島精六	1885	天王寺中学校	大阪	1904		東京		
63	吉田武郎	1888	札幌中学校	北海道	1905		札幌	合	○
64	小林董	1885	札幌中学校	北海道	1905		札幌		
65	土橋政美	1881	東京第一中学校	東京	1899		東京		
66	相馬福蔵	1883	秋田中学校	秋田	1903		秋田		
67	工藤長之丞	1885	青森第一中学校	青森	1905		青森		
68	佐藤憲三郎	1886	東京第三中学校	東京	1904		東京	合	○
69	桜田実	1887	仙台第一中学校	宮城	1905		宮城		
70	深野剛	1885	明倫中学校	愛知	1905		東京		

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験場所	結果	在籍
			学校名	道府県	卒業年				
71	大屋徳次郎	1886	嘉穂中学校	福岡	1905		山口		
72	朝日了教	1886	秋田中学校	秋田	1904		秋田		
73	長谷川篤	1884	新潟中学校	新潟	1905		東京		
74	井口兵右衛門	1885	函館中学校	北海道	1904		札幌	合	○
75	岩崎四郎治	1885	京北中学校	東京	1905		東京		
76	島地潔	1882	攻玉社中学校	東京	1905		東京		
77	蔵野政太郎	1883	新潟中学校	新潟	1904		東京		
78	佐藤誠	1886	順天中学校	東京	1905		東京		
79	阿部慶太	1883	荘内中学校	山形	1904		山形	合	○
80	宇高信一	1886	忠海中学校	広島	1905		東京	合	○
81	竹田義治	1885	東京第一中学校	東京	1904		東京	合	○
82	小熊捍	1885	東京第一中学校	東京	1903		札幌	合	○
83	池尾仙蔵	1885	東京第一中学校	東京	1905		東京		
84	高橋敬所	1884	加治木中学校	鹿児島	1905		熊本		
85	宮崎吉蔵	1886	札幌中学校	北海道	1905		札幌		
86	五十嵐繁治郎	1886	荘内中学校	山形	1905		山形		
87	阿部亀義	1885	相馬中学校	福島	1905		東京		
88	水越策	1885	錦城中学校	東京	1904		東京		
89	加藤留松	1884	滋賀第一中学校	滋賀	1903		東京		
90	北野多一郎	1888	石川第四中学校	石川	1905		石川		
91	石井甫	1887	明倫中学校	愛知	1905		愛知		
92	田辺鉄蔵	1884	立教学院	東京	1905		東京		
93	山本正太郎	1884	鳥取第一中学校	鳥取	1905		東京		
94	加藤義治	1885	鳥取第一中学校	鳥取	1905		東京		
95	大平紀国	1886	攻玉社中学校	東京	1904		東京		
96	八田儀三郎	1883	静岡中学校	静岡	1905		東京		
97	市岡正吉	1884	三重第一中学校	三重	1902		東京	合	
98	松尾誠一	1887	鹿島中学校	佐賀	1905		佐賀		
99	大阪正一	1887	鹿本中学校	熊本	1905		熊本	合	○
100	小田四郎	1886	高田中学校	新潟	1904		新潟		
101	丸山常太郎	1885	北予中学校	愛媛	1905		愛媛		
102	中島保三郎	1887	徳島中学校	徳島	1905		東京		
103	鈴木規矩馬	1885	安積中学校	福島	1904		福島		
104	今泉昇	1885	磐城中学校	福島	1904		東京		
105	松林理三郎	1884	石川第一中学校	石川	1903		東京	合	○
106	染谷四郎	1883	千葉中学校	千葉	1903		東京	合	○
107	田中清作	1886	青森第一中学校	青森	1905		青森	合	○
108	新野清雄	1885	郡山中学校	奈良	1905		東京		
109	合屋環	1884	嘉穂中学校	福岡	1904		東京		
110	山本直治	1886	高知第一中学校	高知	1905		東京		
111	伊藤庄太	1884	三重第二中学校	三重	1905		三重		

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験場所	結果	在籍
			学校名	道府県	卒業年				
112	石井家吉	1884	三重第二中学校	三重	1904		三重		
113	高橋直吉	1877	東京第四中学校	東京	1900		東京		
114	藤井善継	1887	麻布中学校	東京	1904		東京		
115	松岡明吉	1885	三重第二中学校	三重	1904		東京		
116	前川十郎	1885	郁文館	東京	1902		東京	合	○
117	大久保喜一	1885	開成中学校	東京	1902		東京		
118	小野沢新一	1885	上田中学校	長野	1902		東京	合	○
119	多田重太郎	1881	東京中学校	東京	1905		東京		
120	亀井芳太郎	1887	順天中学校	東京	1905		東京		
121	今泉与一	1886	中津中学校	大分	1905		大分		
122	福井正気	1884	札幌中学校	北海道	1904		札幌		
123	有元英夫	1887	札幌中学校	北海道	1905		東京	合	○
124	豊田貢	1886	島根第二中学校	島根	1905		札幌	合	○
125	山口元幸	1885	札幌中学校	北海道	1905		札幌		
126	米山弘	1885	静岡中学校	静岡	1905		静岡	合	○
127	新居進	1887	正則中学校	東京	1905		東京		
128	伊藤喜代治	1882	秋田中学校	秋田	1904		東京		
129	鈴木簡一郎	1886	富岡中学校	群馬	1903		東京	合	○
130	九谷善祐	1886	福井中学校	福井	1905		福井		
131	尾苗林治	1886	富山中学校	富山	1904		富山		
132	岡田武弥	1885	相馬中学校	福島	1905		宮城		
133	池目増次郎	1885	和歌山中学校	和歌山	1905		和歌山		
134	塩田茂吉	1883	高岡中学校	富山	1904		東京		
135	松岡亮作	1886	福山中学校	広島	1905		広島	合	○
136	本郷英敏	1886	八代中学校	熊本	1903		長崎		
137	安原主税	1885	米沢中学校	山形	1904		山形		
138	松島鑑	1886	松本中学校	長野	1905		長野	合	○
139	大野孟一	1885	三豊中学校	香川	1905		香川		
140	波磨笋三	1884	徳島中学校	徳島	1904		東京		
141	梅沢謙三	1885	函館中学校	北海道	1905		札幌		
142	中島信雄	1885	開成中学校	東京	1904		札幌		
143	田瀬寿雄	1884	荘内中学校	山形	1904		札幌		
144	清野亨平	1885	札幌中学校	北海道	1904		札幌		
145	末広耕三	1885	札幌中学校	北海道	1903		大阪		
146	富尾正武	1883	中学猶興館	長崎	1903		東京		
147	岡村信誉	1884	高知第一中学校	高知	1904		東京		
148	永野義勝	1885	八代中学校	熊本	1904		熊本		
149	三浦儀惣治	1884	仙台第二中学校	宮城	1904		東京		
150	見上隆太	1883	郁文館	東京	1905		札幌		
151	大畑清吉	1883	札幌中学校	北海道	1904		札幌		
152	外山坦	1883	開成中学校	東京	1902		東京		

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験場所	結果	在籍
			学校名	道府県	卒業年				
153	田中寛介	1885	山口中学校	山口	1904		東京		
154	松本修一	1885	明道中学校	広島	1905		広島		
155	塩沢梅之助	1885	京北中学校	東京	1905		東京		
156	横川舜蔵	1887	明治義会	東京	1905		京都		
157	稲葉好延	1882	正則中学校	東京	1901		京都		
158	安藤熙	1887	中津中学校	大分	1905		大分	合	○
159	島尾勘吉	1883	脇町中学校	徳島	1905		徳島		
160	李殷徳	1884	京城学堂	京城	1903	正則予備学校 (1904.9-1905.06)、 正則英語学校 (1904.9-1905.6)			○
161	陶昌善	1882	第三高等学校	京都	在学	—			○

備考 1) 「氏名」「生年」「学校名」「卒業年」「中学校卒業後の履歴」「受験場所」は、No 1～No159は札幌農学校簿書832「入学志願者名簿 明治三十八年 教務部」に、No160～No161は札幌農学校簿書823「外国留学生入学志願書 明治三十七年 教務部」による。

2) 「結果」は、札幌農学校簿書829「生徒募集及入学ニ関スル書類 明治三十八年 教務部」所収「入学許可ノ件」(1905年7月25日)により、無試験入学許可を「無」、合格を「合」と表す。

3) 「在籍」は、入学者の目安として、『札幌農学校一覧 自明治三十八年至明治三十九年』(1905年12月)の「学生生徒名」への記載の有無を示し、「○」は第1年級在籍を表す。

付表 9 1906年度予修科入学志願者

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	結果	在籍
			学校名	道府県	卒業年			
1	緒形乙助	1886	新発田中学校	新潟	1906	—	無	○
2	丹治七郎	1888	福島中学校	福島	1906	福島中学校補習科 (1906.4-)	無	○
3	坂根広義	1888	札幌中学校	北海道	1906	—	入	○
4	水野登	1887	静岡中学校	静岡	1904	正則英語学校 (1904.9-1905.5)、 開成中学校補習科 (1905.9-1906.3)	入	○
5	玉山豊	1888	札幌中学校	北海道	1906	札幌中学校補習科 (1906.4-)	入	○
6	和田梓之介	1889	同志社普通学校	京都	1906	—	入	○
7	塩田定市	1886	豊津中学校	福岡	1905	中央大学内中央高等予備校 (1905.10-1906.3)	入	
8	蛭子孝作	1889	日本中学校	東京	1906	—	入	○
9	守谷勝三郎	1886	三豊中学校	香川	1905	—	入	○
10	鎌田貞蔵	1887	遠野中学校	岩手	1906	—	入	○
11	石津半治	1888	萩中学校	山口	1906	萩中学校補習科 (1906.4-)	入	○
12	中田公直	1885	秋田中学校	秋田	1903	—	入	○
13	宮崎良徳	1887	札幌中学校	北海道	1906	札幌中学校補習科 (1906.4-)	入	○
14	染野喜一郎	1886	水海道中学校	茨城	1905	錦城中学校補習科 (1905.9-)	入	

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	結果	在籍
			学校名	道府県	卒業年			
15	上原卓爾	1887	高等師範学校附属中学校	東京	1906	—	入	○
16	福山甚之助	1888	札幌中学校	北海道	1906	—	入	○
17	大石泰蔵	1888	市岡中学校	大阪	1906	—	入	○
18	清水清太郎	1886	長岡中学校	新潟	1905	商工中学校補習科(1905.12-)	入	○
19	早川直瀬	1885	前橋中学校	群馬	1904	—	入	○
20	清水清作	1885	京北中学校	東京	1905	—	入	○
21	仁木雷蔵	1884	新発田中学校	新潟	1905	—	入	○
22	岩崎四郎作	1885	京北中学校	東京	1905	正則英語学校高等受験科(1905.10-1906.5)	入	○
23	田中貫市郎	1887	嘉穂中学校	福岡	1905	—	入	○
24	前田謙吉	1887	新発田中学校	新潟	1906	—	入	○
25	飯塚直吉	1887	盛岡中学校	岩手	1905	正則英語学校(1905.9-)	入	○
26	佐藤成一	1885	高等師範学校附属中学校	東京	1904	—	入	○
27	浮谷竹次郎	1887	東京府立第三中学校	東京	1906	—	入	○
28	田畑太市	1887	埼玉中学校	埼玉	1906	—	入	○
29	正見透	1886	札幌中学校	北海道	1904	正則英語学校(1904.4-1905)	入	○
30	浦上啓太郎	1888	成城学校	東京	1906	—	入	○
31	大内武次	1887	高等師範学校附属中学校	東京	1906	—	入	○
32	高島実	1888	京都府立第一中学校	京都	1906	—	入	○
33	根本甚四郎	1887	千葉中学校	千葉	1906	—	入	○
34	斉藤実男	1887	岐阜中学校	岐阜	1905	—	入	○
35	荘司経雄	1885	熊本中学校	熊本	1904	第五高等学校第二部(1904.9-1905.6)	入	○
36	小野勇五郎	1886	新発田中学校	新潟	1905	—	入	○
37	入江一郎	1888	埼玉中学校	埼玉	1906	—	入	○
38	塩沢梅之助	1885	京北中学校	東京	1905	—	入	○
39	米田繁治郎	1885	畝傍中学校	奈良	1905	—	入	○
40	江口光雄	1887	川内中学校	鹿児島	1906	—	入	○
41	白勢喜四郎	1885	新発田中学校	新潟	1905	—	入	○
42	高橋陸郎	1887	一関中学校	岩手	1906	—	入	○
43	鈴木譚	1885	東京中学校	東京	1906	—	入	○
44	板倉勝則	1888	学習院中等科	東京	1906	—	入	○
45	呉愷	1880	弘文学院	東京	1905	正則学校(1905.4-)	入	○
46	黄国琛	1886	弘文学院	東京	1905	正則英語学校(1905.4-)、 正則予備学校(1905.4-)	入	○

備考1)「氏名」「生年」「学校名」「卒業年」「中学校卒業後の履歴」は、No1～No44は農学校簿書815-2「予修科入学願書 明治三十九年七月 教務課」に、No45～No46は札幌農学校簿書823「外国留学生入学志願書 明治三十七年 教務部」による。

2)「結果」は、農学校簿書921「入学試験ニ関スル書類 明治三十九年七月 教務部」内の「官報材料送付ノ件」(1906年7月19日)により、「無試験入学許可」を「無」、「入学許可」を「入」と表す。

3)「在籍」は、入学者の目安として、『札幌農学校一覧 自明治三十九年至明治四十年』(1907年3月)の「学生生徒名」への記載の有無を示し、「○」は第1年級在籍を表す。